

2. 植物の生育及び植物の状況

植物相及び植生の状況は、当該地域の自然特性を勘案し、事業実施想定区域及びその周囲を対象に、第3.1.5-9表に示す、文献その他資料により整理した。

事業実施想定区域及びその周囲における確認種を抽出した文献その他資料による調査範囲は、第3.1.5-9表のとおりである。

第3.1.5-9表 文献その他資料による調査範囲（植物）

No.	文献	調査範囲
1	「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」（宮城県環境生活部自然保護課、平成28年）	白石市
2	「白石市史2 特別史(上)」（白石市史編さん委員、昭和47年）	白石市、小原地区
3	「宮城県植物誌」（宮城県植物誌編集委員会、平成29年）	奥羽山脈区、仙台平野区、阿武隈山地区
4	「白石市植物誌」（白石市植物誌刊行会、昭和58年）	確認種（高山帯、亜高山帯のみに分布する種を除く）
5	「宮城県材木岩・虎岩周辺地域植物調査報告書」（白石市・七ヶ宿町教育委員会（材木岩・虎岩・風穴地域植物調査会著）、昭和52年）	確認種
6	「平成8、13、19、29年度河川水辺の国勢調査「阿武隈川（河口部を除く）」植物」（河川環境データベース 河川水辺の国勢調査、閲覧：令和4年7月）	確認種（河口部を除く）
7	「レッドデータブックふくしまⅠ 福島県の絶滅の恐れのある野生生物 植物・昆虫類・鳥類」（福島県、平成14年）	福島市、国見町、桑折町
8	「福島県植物誌」（福島県植物誌編さん委員会、昭和62年）	中通り（高山帯、亜高山帯、地域限定種を除く）
9	「福島県史 第25巻 各論編11（自然・建設）」（福島県、昭和40年）	阿武隈山地、吾妻山、安達太良山、北阿武隈、中通り低地万太郎山、
10	「歴春ふくしま文庫 16. シダ植物の世界：太古のみどりを見つめて」（山田恒人、平成14年）	阿武隈川、該当地域
11	「歴春ふくしま文庫 19. ふくしまの水生植物」（薄葉満、平成14年）	阿武隈山地、阿武隈川、
12	「福島の自然」（野中俊夫 他、平成2年）	中通り、阿武隈山地、該当地域
13	「ふくしまの生きもの」（「ふくしまの生きもの」記念誌部・日本生物教育会福島支部、平成27年）	中通り、阿武隈山地、該当地域
14	「ふるさとの鳥をたずねるーふくしまの野鳥ー」（福島県野鳥の会、昭和54年）	中通り、阿武隈山地、該当地域
15	「福島市小鳥の森の植物相」（黒沢高秀(福島大)・武田克彦(福島大)・猪狩資子(小鳥の森里山保全クラブ)・高原豊(小鳥の森里山保全クラブ)・高原郁子(小鳥の森里山保全クラブ)・渡辺苑子(小鳥の森里山保全クラブ)・長渡真弓(福島市小鳥の森)、平成21年）	確認種
16	「歴春ふくしま文庫 17. スゲ類の世界 福島県に自生するスゲ類」（斎藤慧、平成13年）	中通り（高山・亜高山帯種を除く）
17	「ふくしまの生き物たち 山野、川・湖沼ウォッチング」（福島民友新聞社、平成17年）	福島市、国見町、桑折町
18	「桑折町誌」（桑折町教育委員会、昭和44年）	確認種（栽培種除く）

(1) 植物相の概要

事業実施想定区域及びその周囲の植物相の概要は第 3.1.5-10 表に示すとおりである。維管束植物（シダ植物及び種子植物）3,396 種（亜種、変種、品種及び雑種を含む）が確認されている。

第 3.1.5-10 表 植物相の概要

分類		主な確認種
シダ植物		ヒカゲノカズラ、スギナ、イヌドクサ、フユノハナワラビ、ゼンマイ、オウレンシダ、ワラビ、クジャクシダ、トラノオシダ、ヒメシダ、イワデンダ、イヌガンソク、コウヤワラビ、クサソテツ、シシガシラ、イヌワラビ、ヤマイヌワラビ、ヘビノネゴザ、シケシダ、ヤブソテツ、ミサキカグマ、オシダ、クマワラビ、ジュウモンジシダ、ノキシノブ等 (259 種)
種子植物	裸子植物	イチョウ、モミ、カラマツ、アカマツ、ゴヨウマツ、クロマツ。コメツガ、ヒノキ、スギ、ネズミサシ、クロベ、ヒノキアスナロ、イヌガヤ、ハイイヌガヤ、キヤラボク、カヤ等 (37 種)
	被子植物	ドクダミ、コブシ、カラスビシャク、オモダカ、ヤマユリ、シュンラン、ツユクサ、オクノカンスゲ、ススキ、ヨシ、スズダケ、クサノオウ、アケビ、ニリンソウ、アキカラマツ、メドハギ、クズ、アキグミ、ケヤキ、ヤマグワ、ノイバラ、クリ、ブナ、ミズナラ、コナラ、アカシデ、マユミ、ネコヤナギ、タチツボスミレ、ヤマウルシ、サンショウ、カナビキソウ、ミゾソバ、コハコベ、ウツギ、ヤブツバキ、ヤマツツジ、アオキ、アカネ、ガガイモ、ヒルガオ、イボタノキ、オオバコ、ムラサキシキブ、ウツボグサ、ハナイカダ、キキョウ、ヨモギ、ノコンギク、ノアザミ、ノゲシ、タラノキ、ミツバ、ヤブジラミ、ニワトコ、ガマズミ、オトコエシ等 (3,100 種)
合計		3,396 種

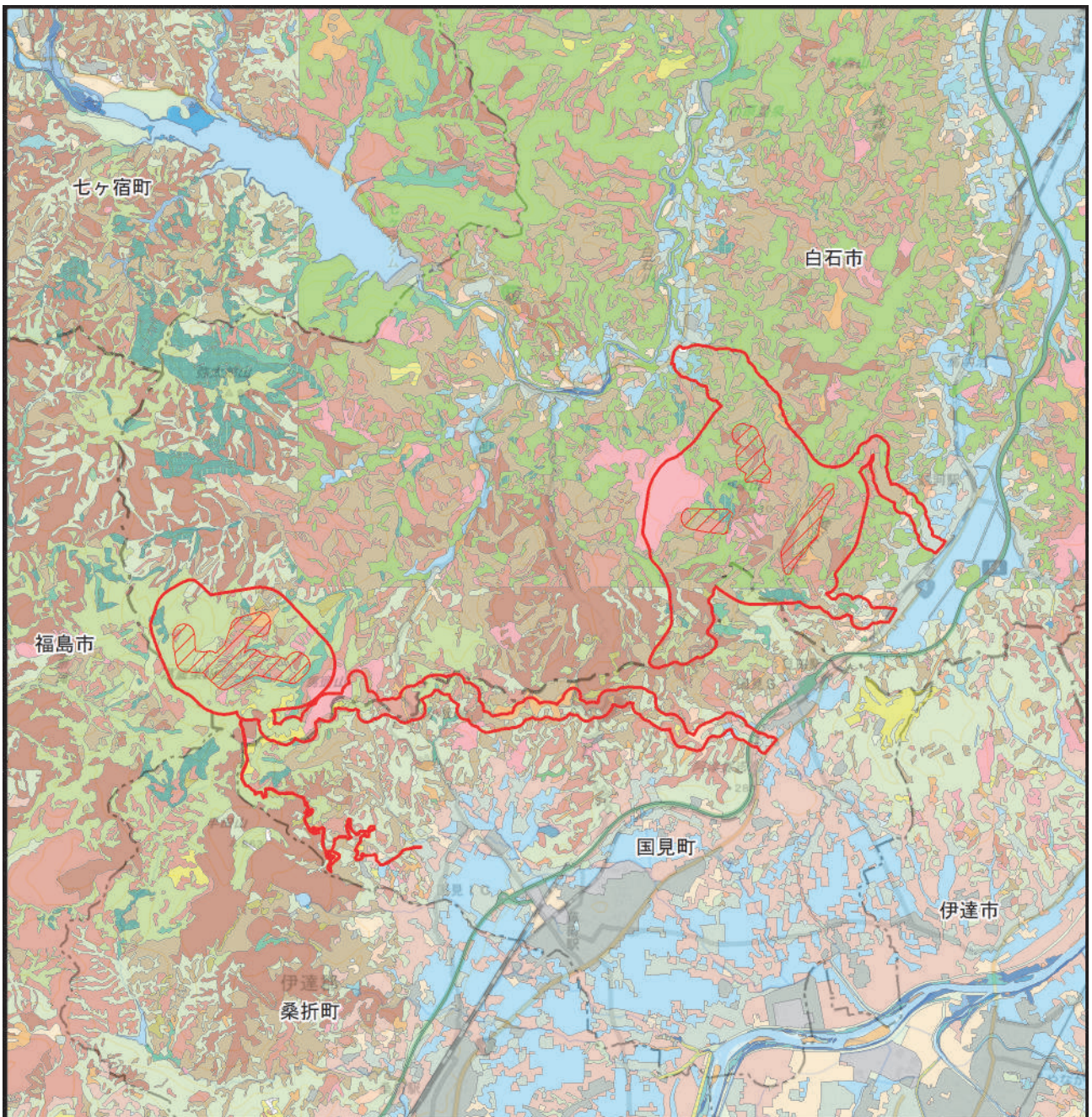
- 注：1. 確認種は、第 3.1.5-9 表に示す文献その他の資料より抽出した
 2. 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省、令和 3 年）に準拠した。

(2) 植生の概要

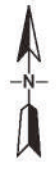
事業実施想定区域及びその周囲の現存植生図は第 3.1.5-10 図に、凡例は第 3.1.5-11 表に、また、植生自然度は第 3.1.5-12 表、第 3.1.5-11 図に示すとおりである。

事業実施想定区域及びその周囲の植生は、ブナクラス域代償植生のクリーミズナラ群集、伐採跡地群落（V）が広がり、アカマツ群落（V）や植林地・耕作地植生のスギ・ヒノキ・サワラ植林、アカマツ植林がパッチ状に見られ一部風力発電機設置想定範囲においてみられる。

事業実施想定区域及びその周囲の植生自然度は、自然度 4、6、7 が広く分布しており、事業実施想定区域の一部では自然度 9 クラスの植生が存在する。

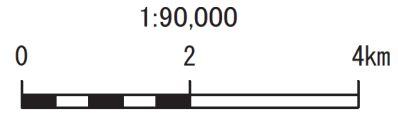


凡例 ○ 事業実施想定区域 ◌ 風力発電機設置想定範囲 - - - 県境 - · - · - 市町村境界































注：植生図の凡例は第3.1.5-11表のとおりである。

「第6、7回自然環境調査(平成12、27、29、30年) Web-GIS
1/2.5万現存植生図(宮城県、福島県)」
(環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和4年7月)より作成

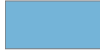



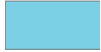



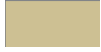
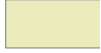

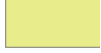
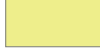
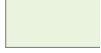



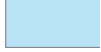



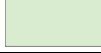
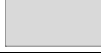

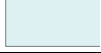



第3.1.5-10 図(1) 文献その他資料調査による現存植生図

第 3.1.5-11 表(1) 現存植生図凡例

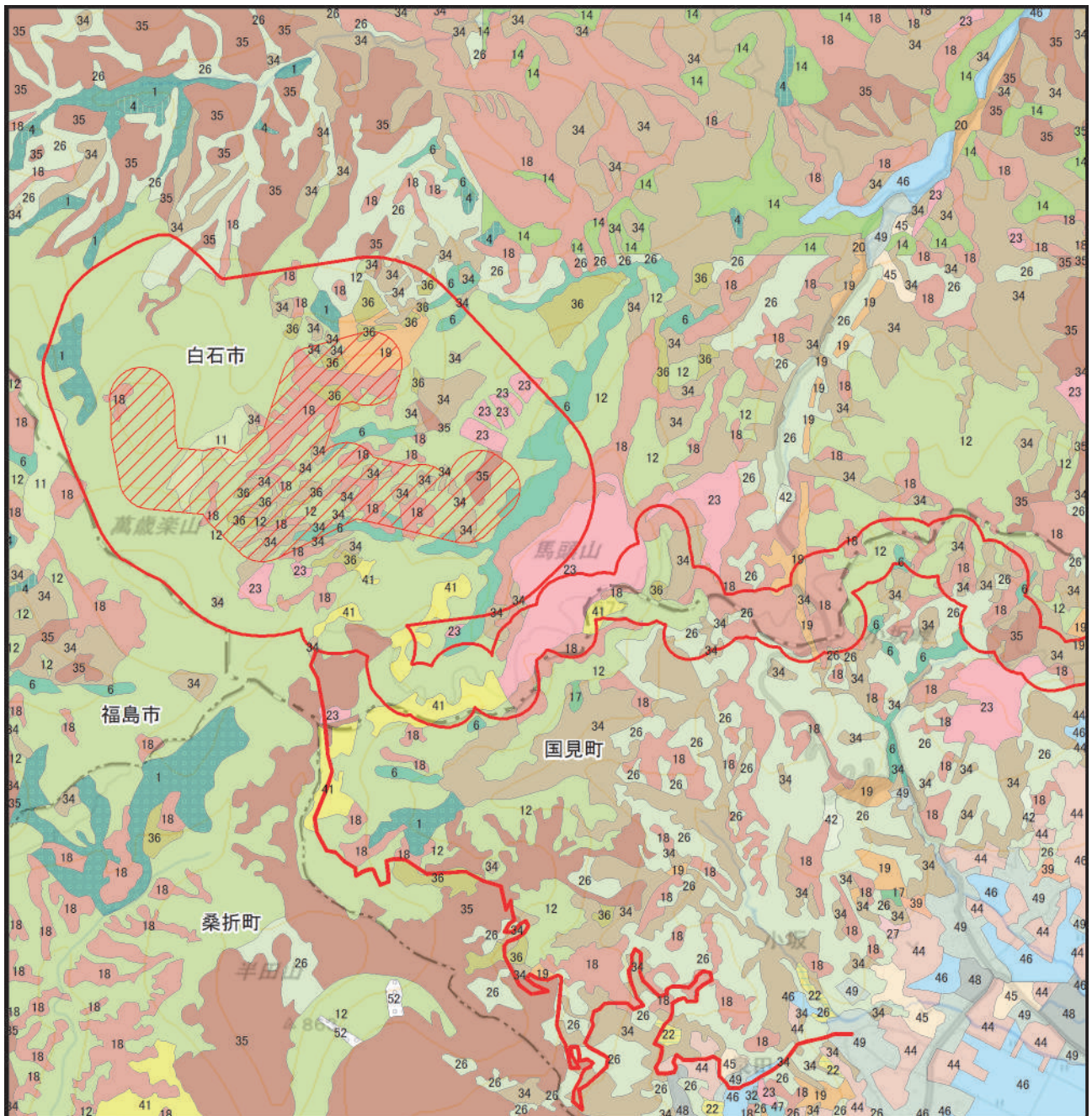
植生区分	凡例	図中 No.	群落名	統一凡例 No.	自然度
ブナクラス域自然植生		1	モミーイヌブナ群集	130203	9
		2	イヌシデーアカシデ群落	130401	9
		3	クロベークタゴヨウ群落	140300	9
		4	アオハダーモミ群落	141101	9
		5	アカマツ群落 (I V)	150100	9
		6	ケヤキ群落 (I V)	160400	9
		7	ヤナギ高木群落 (I V)	180100	9
		8	ヤナギ低木群落 (I V)	180200	9
		9	オニグルミ群落 (I V)	180300	9
		10	ヤマハンノキ群落	180400	9
ブナクラス域代償植生		11	ブナーミズナラ群落	220100	8
		12	クリーミズナラ群集	220102	7
		13	オオバクロモジミズナラ群集	220103	7
		14	コナラ群落 (V)	220500	7
		15	オクチョウジザクラコナラ群集	220501	7
		16	オニグルミ群落 (V)	221200	7
		17	ケヤキ二次林	221300	8
		18	アカマツ群落 (V)	230100	7
		19	ニシキウツギーノリウツギ群落	240101	5
		20	タニウツギーノリウツギ群落	240102	5
		21	ササ群落 (V)	250100	5
		22	ススキ群団 (V)	250200	5
		23	伐採跡地群落 (V)	260000	4
ヤブツバキクラス域自然植生		24	ケヤキ群落 (V I)	300100	9
		25	イヌシデーアカシデ群落 (V I)	300401	9
ヤブツバキクラス域代償植生		26	クリーコナラ群集	410101	7
		27	クズ群落	440200	5
		28	伐採跡地群落 (V I I)	460000	10

第 3.1.5-11 表(2) 現存植生図凡例

植生区分	凡例	図中 No.	群落名	統一凡例 No.	自然度
河辺・湿原・沼沢地・砂丘 植生		29	ヨシクラス	470400	10
		30	ツルヨシ群集	470501	10
		31	オギ群集	470502	10
		32	ヒルムシロクラス	470600	10
		33	河辺一年生草本群落 (タウコギクラス等)	470900	4
植林地・耕作地植生		34	スギ・ヒノキ・サワラ植林	540100	6
		35	アカマツ植林	540200	6
		36	カラマツ植林	540700	6
		37	ニセアカシア群落	540902	3
		38	イタチハギ群落	541402	3
		39	竹林	550000	3
		40	ゴルフ場・芝地	560100	2
		41	牧草地	560200	2
		42	路傍・空地雑草群落	570100	4
		43	放棄畑雑草群落	570101	4
		44	果樹園	570200	3
		45	畑雑草群落	570300	2
		46	水田雑草群落	570400	2
		47	放棄水田雑草群落	570500	4
市街地等		48	市街地	580100	1
		49	緑の多い住宅地	580101	2
		50	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	580200	3
		51	工場地帯	580300	1
		52	造成地	580400	1
		53	開放水域	580600	-
		54	自然裸地	580700	-

注：統一No. は、「第 6、7 回自然環境調査(平成 12、27、29、30 年) Web-GIS 1/2.5 万現存植生図(宮城県、福島県)」(環境省HP、閲覧：令和 4 年 7 月)の現存植生図に示される 6 桁の統一凡例コードである。

〔「第 6、7 回自然環境調査(平成 12、27、29、30 年) Web-GIS 1/2.5 万現存 植生図(宮城県、福島県)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和 4 年 7 月)より作成〕

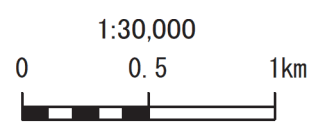


凡例 ○ 事業実施想定区域 ▨ 風力発電機設置想定範囲 - - - 県境 - - - 市町村境界

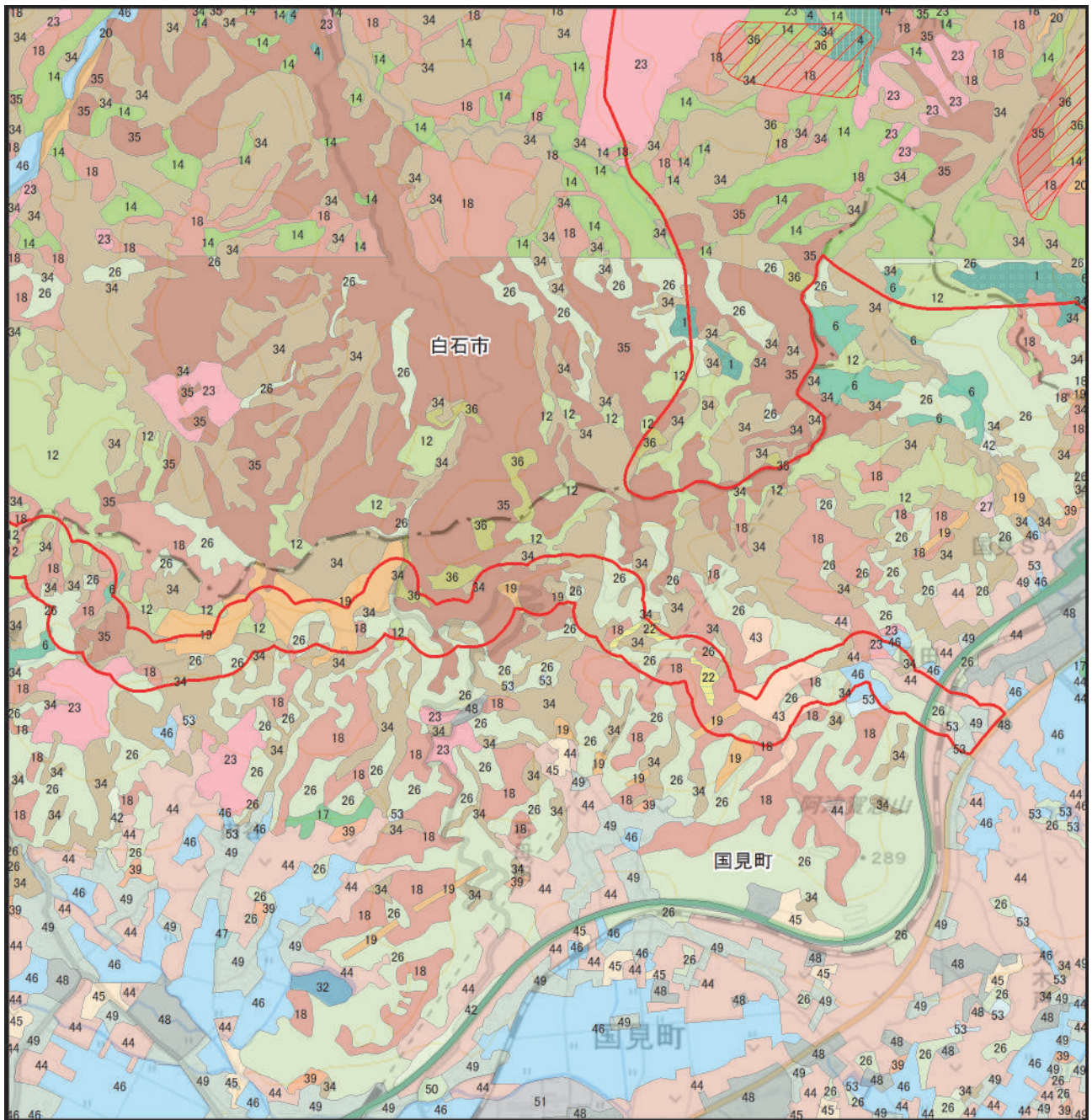


注：植生図の凡例は第3.1.5-11表のとおりである。
 図中の番号は第3.1.5-11表の図中No.に対応する

「第6、7回自然環境調査(平成12、27、29、30年)Web-GIS
 1/2.5万現存植生図(宮城県、福島県)」
 (環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和4年7月)より作成



第3.1.5-10図(2) 文献その他資料調査による現存植生図(拡大版)

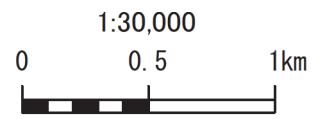


凡例 ○ 事業実施想定区域 〰 風力発電機設置想定範囲 - - - 県境 - - - 市町村境界

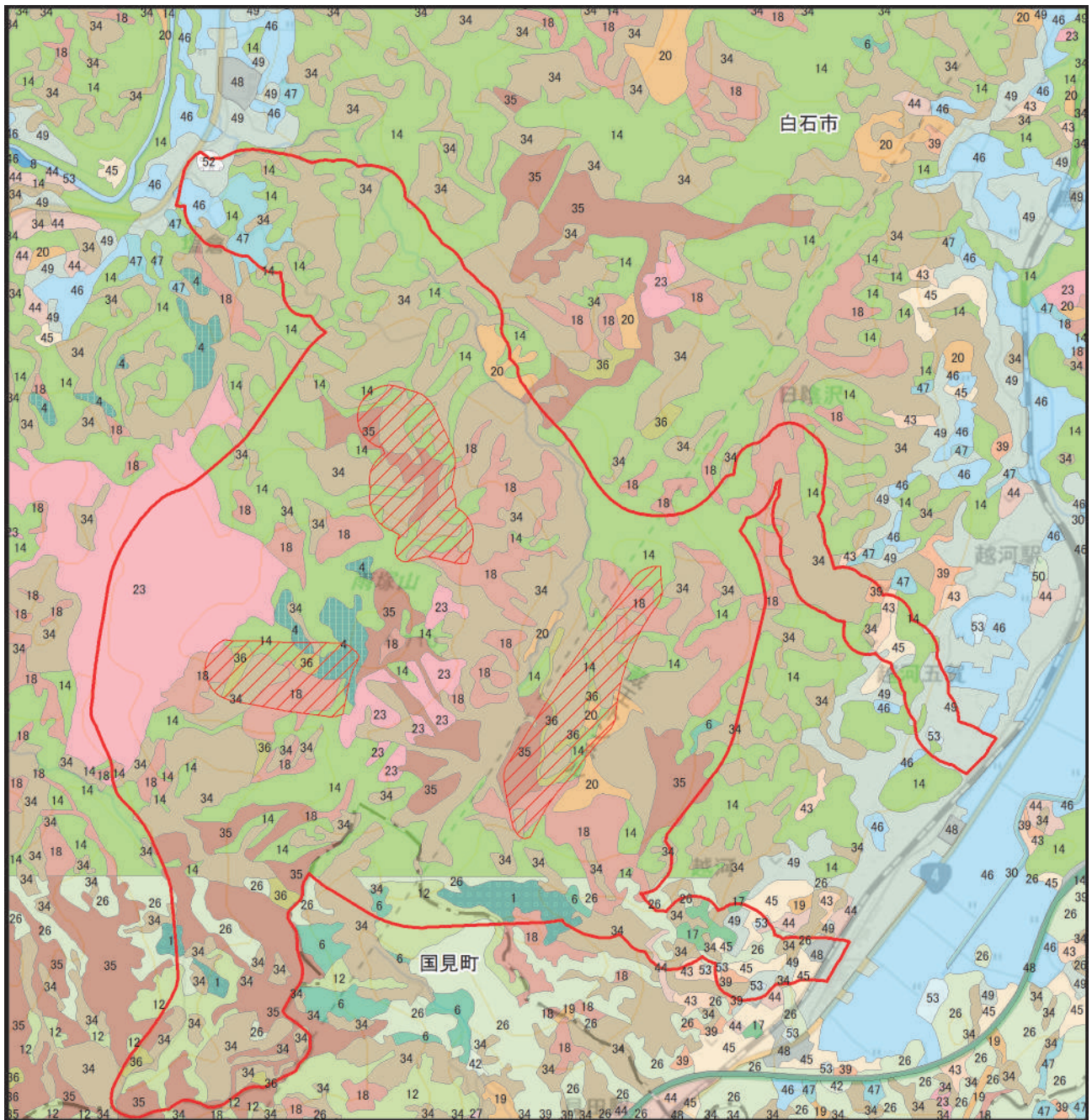


注：植生図の凡例は第3.1.5-11表のとおりである。
 図中の番号は第3.1.5-11表の図中No.に対応する

「第6、7回自然環境調査(平成12、27、29、30年) Web-GIS
 1/2.5万現存植生図(宮城県、福島県)」
 (環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和4年7月)より作成



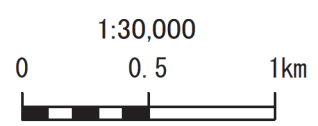
第3.1.5-10 図(3) 文献その他資料調査による現存植生図(拡大版)



凡例 ○ 事業実施想定区域 ▨ 風力発電機設置想定範囲 - - - 県境 - - - 市町村境界



注：植生図の凡例は第3.1.5-11表のとおりである。
 図中の番号は第3.1.5-11表の図中No.に対応する
 「第6、7回自然環境調査(平成12、27、29、30年)Web-GIS
 1/2.5万現存植生図(宮城県、福島県)」
 (環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和4年7月)より作成



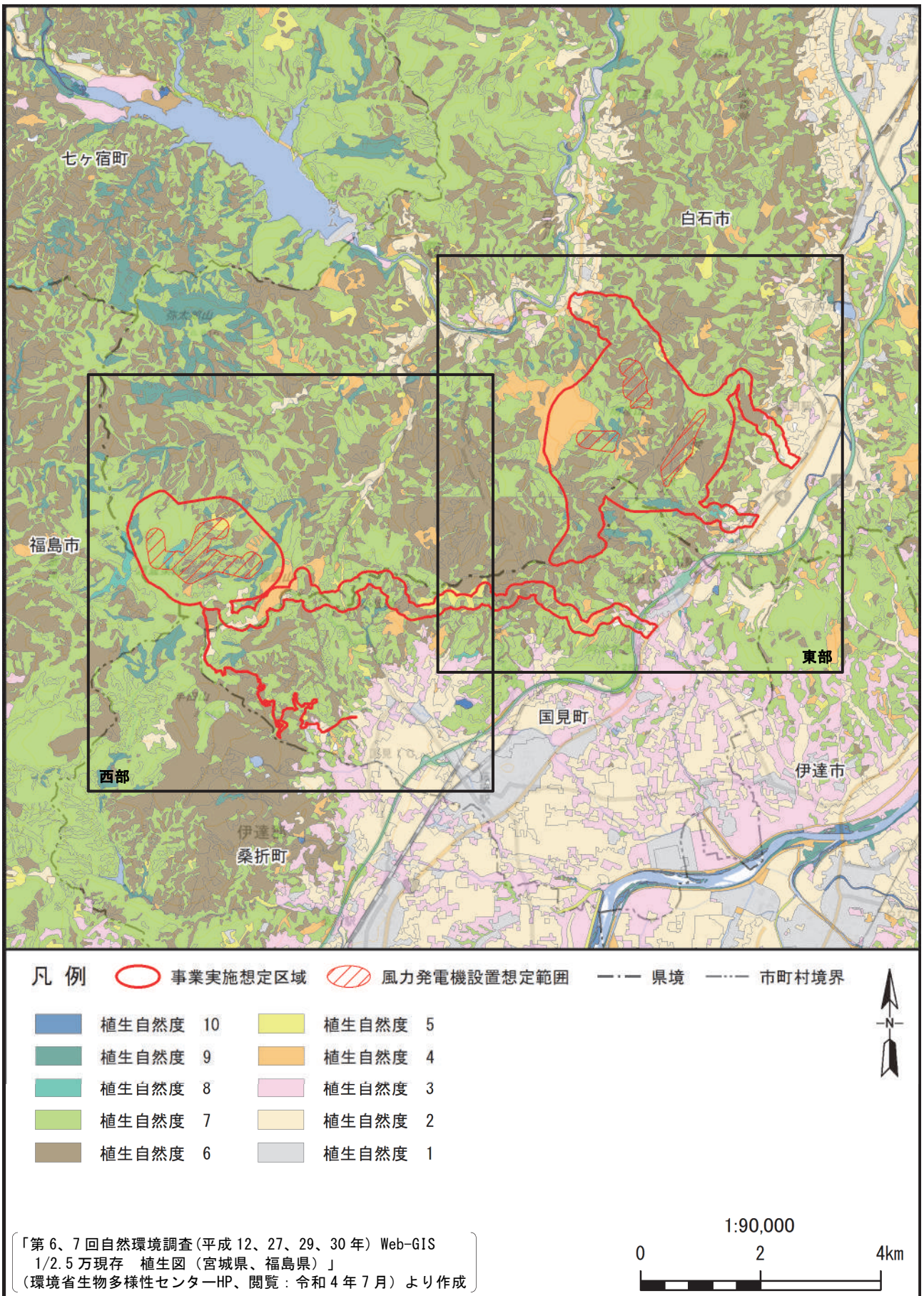
第3.1.5-10図(4) 文献その他資料調査による現存植生図(拡大版)

第 3.1.5-12 表 植物自然度の概要

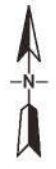
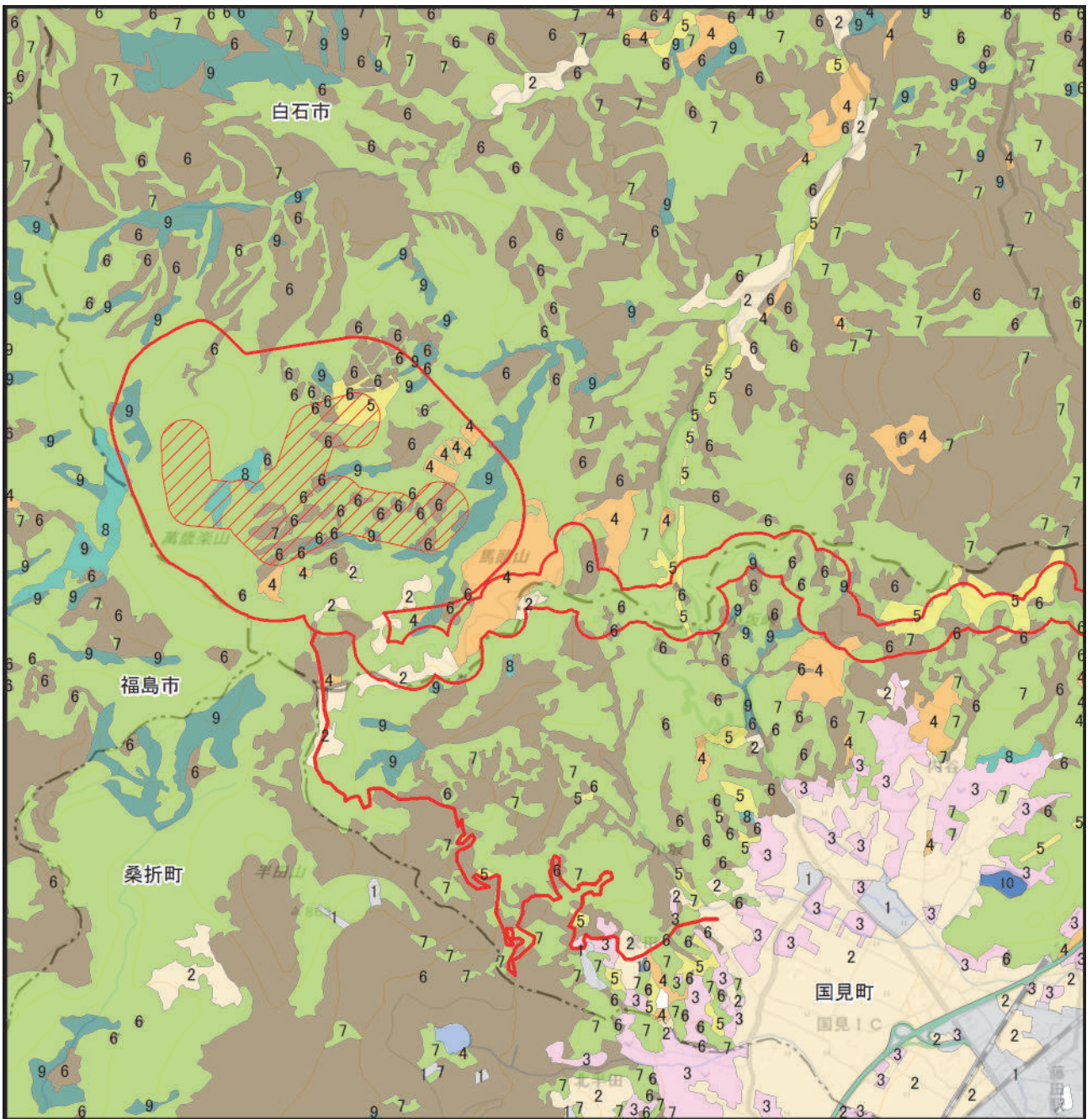
植生自然度	植生区分
10	ヨシクラス、ツルヨシ群集、オギ群集、ヒルムシロクラス
9	モミーイヌブナ群集、イヌシデアカシデ群落、クロベータゴヨウ群落、アオハダモミ群落、アカマツ群落（I V）、ケヤキ群落（I V）、ヤナギ高木群落（I V）、ヤナギ低木群落（I V）オニグルミ群落（I V）、ヤマハンノキ群落、ケヤキ群落（V I）、イヌシデアカシデ群落（V I）
8	ブナミズナラ群落、ケヤキ二次林
7	クリーミズナラ群集、オオバクロモジミズナラ群集、コナラ群落（V）、オクチョウジザクラコナラ群集、オニグルミ群落（V）アカマツ群落（V）、クリーコナラ群集
6	スギ・ヒノキ・サワラ植林、アカマツ植林、カラマツ植林
5	ニシキウツギーノリウツギ群落、タニウツギーノリウツギ群落、ササ群落（V）、ススキ群団（V）、クズ群落
4	伐採跡地群落（V）、伐採跡地群落（V I I）、河辺一年生草本群落（タウコギクラス等）、路傍・空地雑草群落、放棄畑雑草群落、放棄水田雑草群落
3	ニセアカシア群落、イタチハギ群落、竹林、果樹園、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
2	ゴルフ場・芝地、牧草地、畑雑草群落、水田雑草群落、緑の多い住宅地
1	市街地、工場地帯、造成地

注：植生自然度の区分は、「1/2.5万植生図を基にした植生自然度について」（環境省、平成28年）に基づく。

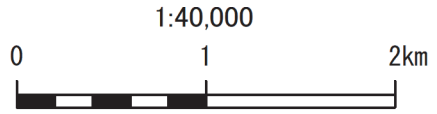
〔「第6、7回自然環境調査(平成12、27、29、30年) Web-GIS
1/2.5万現存 植生図(宮城県、福島県)」
(環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和4年7月)より作成〕



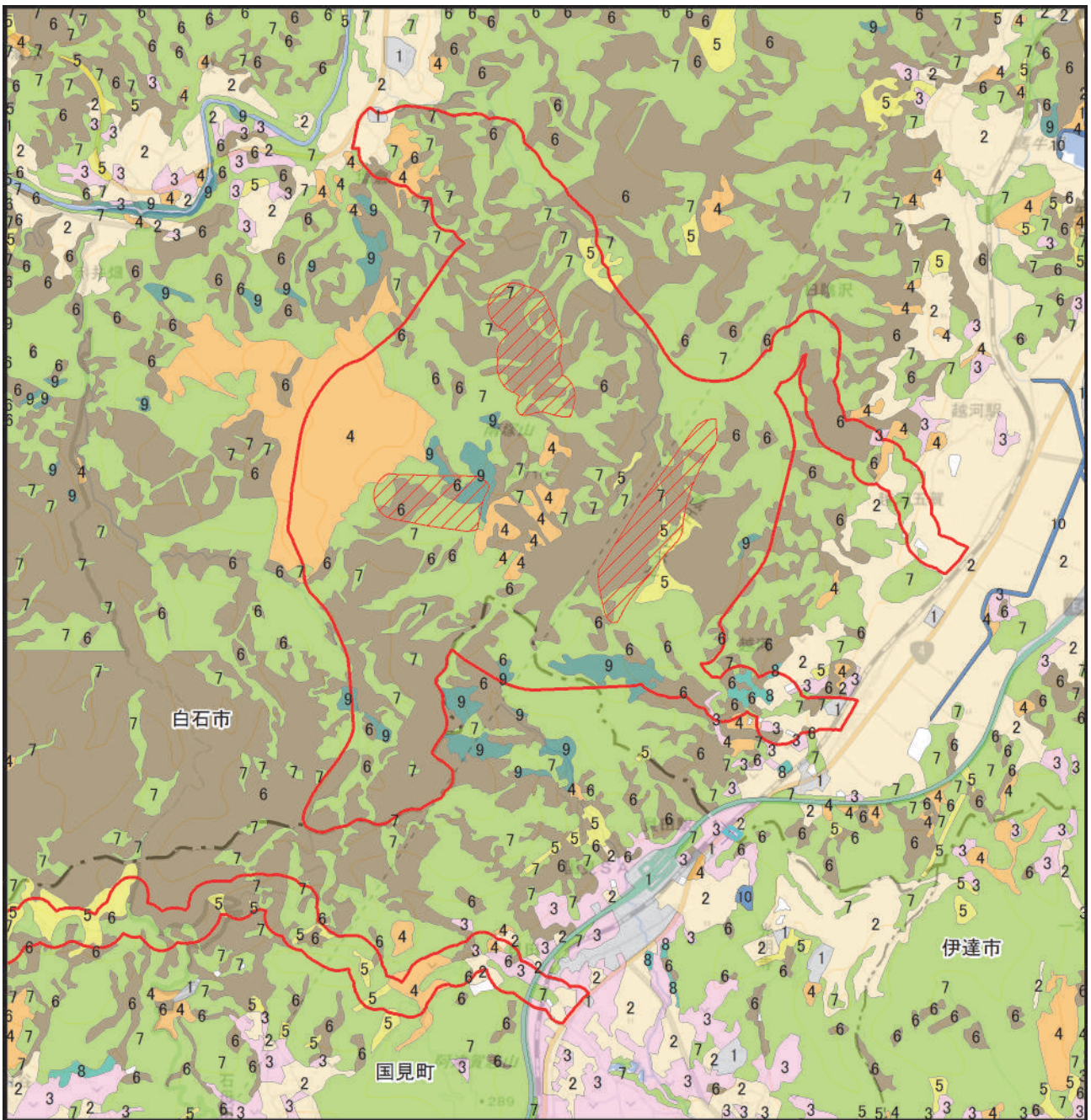
第3.1.5-11 図(1) 現存植生図による植生自然度



「第6、7回自然環境調査(平成12、27、29、30年) Web-GIS
 1/2.5万現存 植生図(宮城県、福島県)」
 (環境省生物多様性センターHP、閲覧: 令和4年7月) より作成

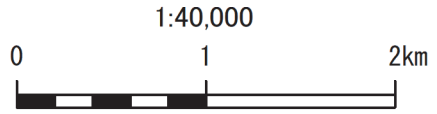


第 3.1.5-11 図(2) 現存植生図による植生自然度 (拡大版: 西部)



- 凡例
- 事業実施想定区域
 - ▨ 風力発電機設置想定範囲
 - - - 県境
 - - - 市町村境界
- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 植生自然度 10 植生自然度 9 植生自然度 8 植生自然度 7 植生自然度 6 | <ul style="list-style-type: none"> 植生自然度 5 植生自然度 4 植生自然度 3 植生自然度 2 植生自然度 1 |
|--|---|

「第6、7回自然環境調査(平成12、27、29、30年) Web-GIS
 1/2.5万現存 植生図(宮城県、福島県)」
 (環境省生物多様性センターHP、閲覧: 令和4年7月) より作成



第3.1.5-11 図(3) 現存植生図による植生自然度 (拡大版: 東部)

(3) 植物の重要な種及び重要な群落

植物の重要な種及び重要な群落の選定基準は、第 3.1.5-13 表に示すとおりである。

第 3.1.5-13 表(1) 植物の重要な種及び重要な群落の選定基準

選定基準		カテゴリー	重要な種	重要な群落
①	「文化財保護法」 (昭和 25 年 法律第 214 号) 「宮城県文化財保護条例」 (昭和 50 年 宮城県条例第 49 号) 「福島県文化財保護条例」 (昭和 45 年 福島県条例第 43 号) 「白石市文化財保護条例」 (昭和 39 年 条例第 3 号) 「福島市文化財保護条例」 (昭和 34 年 条例第 7 号) 「国見町文化財保護条例」 (昭和 51 年 条例第 8 号) 「桑折町文化財保護条例」 (昭和 51 年 条例第 9 号)	<ul style="list-style-type: none"> ・特天：特別天然記念物 ・天然：天然記念物 ・県天：県指定天然記念物 ・市天：市指定天然記念物 ・町天：町指定天然記念物 	○	
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 法律第 75 号) 及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令」(平成 5 年 政令第 17 号)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内：国内希少野生動植物 ・国際：国際希少野生動植物 ・緊急：緊急指定種 	○	
③	「環境省レッドリスト 2020」 (環境省、令和 2 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅（我が国ではすでに絶滅したと考えられる種） ・EW：野生絶滅（飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種） ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類（絶滅の危機に瀕している種） ・CR：絶滅危惧ⅠA類（ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高いもの） ・EN：絶滅危惧ⅠB類（ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高いもの） ・VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種） ・NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種） ・DD：情報不足（評価するだけの情報が不足している種） ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群（地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの） 	○	

第 3.1.5-13 表(2) 植物の重要な種及び重要な群落の選定基準

選定基準		カテゴリー	重要な種	重要な群落
④	「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト 2021,2022 年版－」（宮城県環境生活部自然保護課、令和 3,4 年） 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」（宮城県環境生活部自然保護課、平成 28 年）	<ul style="list-style-type: none"> ・ EX：絶滅（過去に生息したことが確認され、すでに絶滅したと考えられる種） ・ EW：野生絶滅（飼育下でのみ存続している種） ・ CR：絶滅危惧ⅠA類（ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの） ・ EN：絶滅危惧ⅠB類（ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの） ・ VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種） ・ NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種） ・ DD：情報不足（絶滅危惧に移行する可能性はあるが、評価するだけの情報が不足している種） ・ 要注：要注目種（県内では現時点で絶滅の可能性が低いものの、その生息・生育状況に注目すべき種） 	○	
⑤	「ふくしまレッドリスト 2021 年版」（福島県生活環境部自然保護課、令和 4 年）	<ul style="list-style-type: none"> ・ EX：絶滅（本県ではすでに絶滅したと考えられる種） ・ EW：野生絶滅（飼育・栽培下でのみ存続している種） ・ CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類（本県において絶滅の危機に瀕している種） ・ VU：絶滅危惧Ⅱ類（本県において絶滅の危機が増大している種） ・ NT：準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種） ・ DD：情報不足（評価するだけの情報が不足している種） ・ LP：絶滅のおそれのある地域個体群（地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの） 	○	
⑥	「福島県野生動植物の保護に関する条例」（平成 17 年 規則第 22 号）	特定希少野生動物種	○	
⑦	「第 2 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落一覧表（全国版）」（環境庁、昭和 54 年）、「第 3 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書（全国版）」（環境庁、昭和 63 年）、「第 5 回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書」（環境庁、平成 12 年）に掲載されている特定植物群落	<p>A:原生林もしくはそれに近い自然林</p> <p>B:国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群</p> <p>C:比較的普通に見られるものであっても、南限・北限・隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群</p> <p>D:砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの</p> <p>E:郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの</p> <p>F:過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの</p> <p>G:乱獲、その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群</p> <p>H:その他、学術上貴重な植物群落または個体群</p>		○

第 3.1.5-13 表(3) 植物の重要な種及び重要な群落の選定基準

選定基準		カテゴリー	重要な種	重要な群落
⑧	「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト 2021 年版－」(宮城県環境生活部自然保護課、令和 3 年) 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(宮城県環境生活部自然保護課、平成 28 年)	壊滅 (D) : 群落は壊滅した 壊滅状態 (4) : 群落は全体的に壊滅状態にあり、緊急に対策を講じなければ壊滅する 壊滅危惧 (3) : 対策を講じなければ、群落は徐々に悪化して壊滅する 破壊危惧 (2) : 群落は当面保護されているが、将来破壊されるおそれがある 要注意 (1) : 現在、保護・管理状態がよく、当面破壊されるおそれが少ない。しかし、監視は必要である		○
⑨	「植物群落レッドデータ・ブック」(NACS-J.WWF Japan、平成 8 年) に掲載の植物群落	4 : 緊急に対策必要 3 : 対策必要 2 : 破壊の危惧 1 : 要注意		○
⑩	「1/2.5 万植生図を基にした植生自然度にて」(環境省、平成 28 年) に掲載の植生自然度 10 及び 9 の植生	植生自然度 10 : 自然草原 (高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区) 植生自然度 9 : 自然林 (エゾマツトドマツ群種、ブナ群落等、自然植生のうち低木林、高木林の植物社会を形成する地区)		○

① 重要な種

植物の重要な種は、「(1)植物相の概要」で確認された種について、選定基準に基づき学術上または希少性の観点から選定した。その結果、重要な種は第 3.1.5-14 表のとおり 122 科 676 種であった。

第 3.1.5-14 表(1) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境								
					①	②	③	④	⑤	⑥									
1	シダ植物	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	ヒメスギラン					VU		1								
2				スギカズラ						NT		1							
3				スギラン			VU		CR+EN		CR		1						
4		イワヒバ	イワヒバ	イヌカタヒバ			VU				1								
5		ミズニラ	ミズニラ	ミズニラ			NT		NT			4							
6				ミズニラモドキ			VU		CR+EN		EN		4						
7		ハナヤスリ	ハナヤスリ	ヤマハナワラビ					VU			2							
8				トネハナヤスリ			VU		CR+EN				4						
9				コヒロハハナヤスリ							VU		1						
10				ハマハナヤスリ								CR		4					
11		ゼンマイ	ゼンマイ	オニゼンマイ					VU		VU	4							
12				ヤシャゼンマイ						NT			4						
13		コケシノブ	コケシノブ	アオホラゴケ						CR+EN		NT	3						
14				ホソバコケシノブ							NT			3					
15				ヒメハイホラゴケ									CR	3					
16				コハイホラゴケ							VU			1					
17		フサシダ	カニクサ	カニクサ							NT		1						
18		サンショウモ	デンジソウ	デンジソウ				VU		EW		EX	4						
19			サンショウモ	オオアカウキクサ					EN			CR	4						
20			サンショウモ	サンショウモ					VU		NT		CR	4					
21		ヘゴ	キジノオシダ	オオキジノオ						CR+EN		VU	1						
22		ウラボシ	コバノイシカグマ	コバノイシカグマ						CR+EN		VU	1						
23				フモトシダ								VU		1					
24				イノモトソウ	ヒメウラジロ					VU				DD	3				
25			イノモトソウ								NT			1					
26			マツサカシダ									CR+EN		NT	1				
27			オオバノハチジョウシダ									CR+EN		VU	1				
28			ナヨシダ		ウスヒメワラビ							CR+EN			1				
29				ウサギシダ							VU		NT		1				
30			チャセンシダ	コバノヒノキシダ							VU			3					
31			ヒメシダ	ホシダ									NT		1				
32			イワデンダ	コガネシダ									NT		3				
33			メシダ	ハコネシケチシダ							VU		EN		1				
34				シケチシダ									要注	VU		1			
35				オクヤマワラビ								CR+EN		VU		1			
36				トガリバイヌワラビ									CR+EN			1			
37				ホソバイヌワラビ								NT		NT		1			
38				ヒロハイヌワラビ									CR+EN		NT		1		
39				ヤブシダ									NT				1		
40				コウライイヌワラビ								VU		CR+EN			1		
41				セイタカシケシダ									VU		EN		1		
42				ヒカゲワラビ									VU				1		
43				オニヒカゲワラビ									VU		NT		1		
44				オシダ	オニカナワラビ							CR		CR+EN		DD		1	
45					ナンゴクナライシダ										要注			1	
46					ハカタシダ									CR+EN		NT		1	
47					ミヤコヤブソテツ										CR+EN			1	
48					オクヤマシダ									VU		NT		1	
49					サイゴクベニシダ										EX			1	
50					オオクジャクシダ											NT		1	
51					サクライカグマ										CR+EN			1	
52					オオイタチシダ										NT			1	
53					ギフベニシダ										CR+EN			1	
54					リョウトウイタチシダ										NT		NT		1
55					キヨスミヒメワラビ									VU		NT		1	
56					ナンタイシダ										要注		NT		1
57					イノデモドキ									VU		EN		1	
58				ウラボシ	アオネカズラ										DD		1		

第 3. 1. 5-14 表(2) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境			
					①	②	③	④	⑤	⑥				
59	シダ植物	ウラボシ	ウラボシ	マメヅタ				NT			1			
60				ナガオノキシノブ				EX				3		
61				ヒメサジラン				VU	NT			1		
62				エゾデンダ					VU			1		
63				イワオモダカ					VU	VU		3		
64				ミヤマウラボシ							NT	3		
65	種子植物	マツ	マツ	ウラジロモミ					NT		1			
66				カラマツ				CR+EN				1		
67				ハリモミ						VU		1		
68				ツガ						CR		1		
69				ヒノキ	コウヤマキ	コウヤマキ					NT		1	
70					ヒノキ						NT		1	
71				スイレン	スイレン	オニバス			VU	EX			4	
72				シキミ	マツブサ	サネカズラ						NT	1	
73		チョウセンゴミシ						CR+EN	VU			1		
74		コショウ	ドクダミ	ハンゲショウ					VU	CR	4			
75				ウマノスズクサ	ウマノスズクサ					NT		2		
76				フタバアオイ						CR+EN		1		
77				ミチノクサイシン					VU	NT	VU	1		
78				オクエゾサイシン						VU		1		
79				コシノカンアオイ						NT		NT	1	
80		クスノキ	クスノキ	ヤブニッケイ					CR+EN	NT	1			
81				ヤマコウバイ							NT	1		
82				ダンコウバイ								NT	1	
83		オモダカ	サトイモ	マイヅルテンナンショウ				VU	VU			4		
84				ミミガタテンナンショウ							VU		1	
85				オオمامシグサ								CR	2	
86				ヒメカイウ					NT	CR+EN	DD		4	
87				ナベクラザゼンソウ					VU	CR+EN			4	
88				ザゼンソウ							CR+EN		4	
89				チシマゼキショウ	チャボゼキショウ						CR+EN		3	
90				オモダカ	サジオモダカ						NT	VU		4
91					トウゴクヘラオモダカ					VU			CR	4
92					マルバオモダカ					VU	CR+EN	VU		4
93			アギナシ						NT	VU	VU		4	
94			ウリカワ								NT	EN	4	
95			トチカガミ		マルミスブタ					VU		EX		4
96					スブタ						VU	CR+EN	CR	4
97					ヤナギスブタ							VU	VU	4
98	ミカワスブタ											EX	4	
99	トチカガミ									NT	VU	CR	4	
100	ムサシモ								EN	CR+EN		4		
101	ヒロハトリゲモ								VU	VU	EN	4		
102	イトトリゲモ								NT	NT	EN	4		
103	ホッスモ									VU	NT	4		
104	イバラモ									CR+EN	VU	4		
105	トリゲモ							VU	CR+EN	CR	4			
106	オオトリゲモ								VU		4			
107	イトイバラモ							VU	CR+EN	VU	4			
108	ミズオオバコ							VU	VU	VU	4			
109	コウガイモ								VU		4			
110	セキショウモ									CR+EN	VU	4		
111	ヒルムシロ		ホソバヒルムシロ					VU	CR+EN			4		
112			イトモ						NT	NT	NT	4		
113			エゾヤナギモ							CR+EN		4		
114			コバノヒルムシロ						VU	VU	CR	4		
115			エゾノヒルムシロ							VU	VU	4		
116		センニンモ							VU	VU	4			

第 3.1.5-14 表(3) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境		
					①	②	③	④	⑤	⑥			
117	種子植物	オモダカ	ヒルムシロ	ミズヒキモ				VU	VU		4		
118				ホソバミズヒキモ				VU				4	
119				ヤナギモ						NT		4	
120				ヒロハノエビモ						CR+EN	VU	4	
121				ツツイトモ					VU	CR+EN	CR	4	
122				ササバモ						CR+EN	VU	4	
123				リュウノヒゲモ					NT	VU	CR	4	
124				イトクズモ					VU	CR+EN		4	
125				タコノキ	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ			VU	CR+EN	NT	1	
126				ユリ	シュロソウ	クマバツクパネソウ				VU	NT		1
127						エゾノミヤマエンレイソウ					NT		
128					イヌサフラン	オオチゴユリ						DD	1
129					サルトリイバラ	マルバサンキライ					VU	VU	1
130					ユリ	ミヤマスカシユリ				EN	VU	EN	
131	ヤマスカシユリ						NT		VU		3		
132	ヒメサユリ							NT	CR+EN	NT	1		
133	アマナ								VU		2		
134	クサスギカズラ	ラン	コアニチドリ					VU	CR+EN	VU	3		
135			シラン						NT		EN	2	
136			ムギラン					NT	CR+EN	VU	1		
137			エビネ					NT	VU	VU	1		
138			キンセイラン						VU	CR+EN	CR	1	
139			ナツエビネ						VU	CR+EN	CR	1	
140			サルメンエビネ						VU	CR+EN	CR	○	1
141			ギンラン								NT	1	
142			ユウシュンラン						VU	NT	VU	1	
143			キンラン						VU	VU	VU	1	
144			クゲヌマラン						VU	CR+EN	DD	1	
145			ヒメノヤガラ						VU	VU	EN	1	
146			トケンラン						VU	CR+EN	EN	1	
147			コアツモリソウ						NT	VU	EN	1	
148			クマガイソウ						VU	CR+EN	EN	○	1
149			アツモリソウ						国内	VU	CR+EN	CR	1
150			イチヨウラン							CR+EN	EN	1	
151			サワラン							NT	NT	4	
152			アオスズラン							VU		1	
153			アオキラン						CR	CR+EN	CR	1	
154			カモメラン						NT	CR+EN	CR	1	
155			マツラン						VU	CR+EN	EN	1	
156			シロテンマ						CR	CR+EN	EN	1	
157			ナヨテンマ						EN			1	
158			ベニシュスラン							CR+EN	EN	1	
159			アケボノシュスラン								NT	1	
160			ヒロハツリシュスラン						EN	CR+EN		1	
161			ヒメミヤマウズラ							CR+EN		1	
162			オオミズトンボ						EN	CR+EN	CR	4	
163			ミズトンボ						VU	CR+EN	EN	4	
164			ムカゴソウ						EN	VU	CR	2	
165			ハクウンラン							VU	NT	1	
166			ホクリクムヨウラン								VU	1	
167			ギボウシラン						EN	CR+EN	CR	1	
168			フガクスズムシソウ						VU	CR+EN	EN	1	
169			ジガバチソウ							NT		1	
170			スズムシソウ							CR+EN	CR	1	
171			ノビネチドリ							VU		4	
172			タンザワサカネラン						EN	CR+EN	CR	1	
173			ヒメフタバラン							要注	VU	1	
174	アオフタバラン							VU	VU	1			

第 3.1.5-14 表(4) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境			
					①	②	③	④	⑤	⑥				
175	種子植物	クサスギカズラ	ラン	サカネラン			VU	CR+EN	CR		1			
176				ミヤマモジズリ					CR+EN	CR		1		
177				コケイラン							VU		1	
178				サギソウ					NT	CR+EN	EN		4	
179				ジンバイソウ							NT		1	
180				ミズチドリ							VU		4	
181				イイヌマムカゴ					EN	CR+EN	CR		1	
182				ツレサギソウ							VU	CR	4	
183				マイサギソウ							CR+EN	VU	2	
184				ヤマサギソウ							VU		2	
185				オオバノトンボソウ							VU		1	
186				トキシウ					NT		VU	NT	4	
187				ヤマトキシウ							CR+EN	VU	2	
188				ヒナチドリ							VU	CR+EN	1	
189				ウチョウラン							VU	CR+EN	EN	3
190				カヤラン							VU	NT	1	
191				ヒトツボクロ							NT	NT	1	
192				ショウキラン							CR+EN		1	
193				キンバイザサ		キンバイザサ	コキンバイザサ				EX		1	
194				アヤメ		アヤメ	ヒオウギ				CR+EN		2	
195							ヒメシャガ			NT	NT	NT	3	
196							カキツバタ			NT	VU	VU	4	
197							アヤメ				NT		2	
198				ヒガンバナ		ヒガンバナ	ヤマラッキョウ				VU		2	
199							ギョウジャニンニク				CR+EN		1	
200				クサスギカズラ		クサスギカズラ	キジカクシ					CR	2	
201							スズラン				VU	VU	1	
202							イワギボウシ					VU	1	
203							ヒメマイヅルソウ				CR+EN	VU	1	
204							ヤマトユキザサ				NT		1	
205							ナルコユリ				DD		1	
206							ヒメイズイ				NT		2	
207				ツユクサ		ツユクサ	ヤブミョウガ				CR+EN		1	
208						ツユクサ	ミズアオイ			NT	NT	VU	4	
209				イネ		イネ	ガン				CR+EN	CR	4	
210							ミクリ			NT	NT	NT	4	
211							オオミクリ			VU	CR+EN	VU	4	
212							ヤマトミクリ			NT	CR+EN	VU	4	
213				タマミクリ			NT	CR+EN	VU	4				
214				ナガエミクリ			NT	NT	NT	4				
215				ヒメミクリ			VU	VU	EN	4				
216	ホシクサ		ホシクサ	クロイヌノヒゲ			NT		DD	4				
217				ホシクサ				NT	VU	4				
218				ヤマトホシクサ			VU		DD	4				
219				イヌノヒゲ					NT	4				
220				エゾホシクサ				NT	NT	4				
221				ノソリホシクサ					EN	4				
222				イヌノヒゲモドキ					DD	4				
223				アズマホシクサ			VU	VU	NT	4				
224	イグサ		イグサ	ヒメコウガイゼキショウ				VU	EN	2				
225				ホソイ					CR	4				
226				セイトカヌカボシソウ			EN			1				
227	カヤツリグサ		カヤツリグサ	イトテンツキ			NT		EX	2				
228				ジョウロウスゲ			VU	VU		4				
229				ヌマアゼスゲ			VU	VU		4				
230				ミヤマジュズスゲ					NT	1				
231				スナジスゲ				NT		4				
232				サナギスゲ				CR+EN		1				

第 3. 1. 5-14 表 (5) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境			
					①	②	③	④	⑤	⑥				
233	種子植物	イネ	カヤツリグサ	ハコネイトスゲ				CR+EN			1			
234				ヤマクボスゲ			NT	VU				4		
235				クジュウツリスゲ			NT	VU				1		
236				ムジナスゲ					VU			4		
237				ハタバスゲ					EN	CR+EN			4	
238				チュウゼンジスゲ							NT		2	
239				ヒエスゲ							DD		2	
240				ヤラメスゲ							EN		4	
241				タチスゲ						CR+EN	NT		4	
242				ヌマクロボスゲ					VU	VU	CR		4	
243				ヌカスゲ							VU		1	
244				カンスゲ						CR+EN			3	
245				ナガエスゲ						VU			1	
246				エゾツリスゲ							VU		4	
247				サッポロスゲ							NT		1	
248				ツルスゲ							NT		4	
249				ヒロハイッボンスゲ					EN		EN		4	
250				マメスゲ						CR+EN			1	
251				オオタマツリスゲ							VU		1	
252				ツルカミカワスゲ							NT		2	
253				アブラシバ							EN		2	
254				カンエンガヤツリ					VU	VU			4	
255				タチヒメクグ						VU	CR		4	
256				ニイガタガヤツリ					CR	NT			4	
257				オオシロガヤツリ							NT		4	
258				チシママツバイ					VU	CR+EN			4	
259				コツブヌマハリイ					VU	VU			4	
260				サギスゲ							NT		4	
261				トネテンツキ					VU	CR+EN			4	
262				イヌノハナヒゲ							VU		4	
263				コホタルイ							VU		4	
264				ヒメカンガレイ					VU				4	
265				タタラカンガレイ							EN		4	
266				ミチノクホタルイ						VU			4	
267				タイワンヤマイ							NT		4	
268				シズイ							VU		4	
269				マツカサススキ							VU		4	
270				ツルアブラガヤ							NT		4	
271				コシンジュガヤ						VU	VU		4	
272				ヒロハノハネガヤ							NT		1	
273				ヒメコヌカグサ					NT	NT	NT		4	
274				フサガヤ						VU	VU		1	
275				ヒナザサ		イネ			NT	VU	NT		4	
276				ミズタカモジグサ					VU	VU	DD		4	
277				ミヤマドジョウツナギ							VU		4	
278				ヒメウキガヤ								NT		4
279				ウキガヤ							NT	VU		4
280				カラフトドジョウツナギ								NT		4
281				ミチシバ							VU			1
282	カリヤス								要注		2			
283	キダチノネズミガヤ								NT		1			
284	メダケ									NT	2			
285	アオイチゴツナギ									VU	1			
286	イワテイチゴツナギ							CR+EN			1			
287	タチイチゴツナギ						EN	VU			1			
288	ハマヒエガエリ							VU			4			
289	ウキシバ									NT	4			
290	アキウネマガリ							CR+EN			1			

第 3. 1. 5-14 表(6) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境
					①	②	③	④	⑤	⑥	
291	種子植物	イネ	イネ	ウンゼンザサ					DD		1
292				ミヤマクマザサ					DD		1
293				オオシダザサ					DD		1
294				オモエザサ					VU		1
295				ウスバザサ						DD	1
296				ハコネナンプスズ						DD	1
297				ヒメカミザサ						DD	1
298				タキザワザサ						DD	1
299				ヒメスズタケ					NT		1
300				ウシクサ					CR+EN	EN	4
301				イヌアワ					VU		2
302				ヒゲシバ					NT		4
303				ハイドジョウツナギ					VU	VU	4
304				マツモ	マツモ	マツモ (広義)					VU
305	キンボウゲ	フサザクラ	フサザクラ				要注		1		
306		ケシ	ジロボウエンゴサク					DD	2		
307			ツルケマン			EN	CR+EN	EN	1		
308			ナガミノツルケマン			NT	NT		1		
309			ヤマブキソウ					NT	1		
310			アケビ	ムベ					DD	1	
311		ツヅラフジ	ツヅラフジ					DD	NT	1	
312		メギ	トガクシソウ			NT	CR+EN	CR	1		
313		キンボウゲ	センウズモドキ			VU	NT	VU	1		
314			レイジンソウ						DD	1	
315			フクジュソウ					VU	VU	1	
316			イチリンソウ					CR+EN	VU	1	
317			サンリンソウ						VU	1	
318			レンゲショウマ					NT	NT	1	
319			カザグルマ				NT	VU	EN	1	
320			バイカオウレン						VU	1	
321			アズマシロカネソウ					CR+EN	NT	1	
322			トウゴクサバノオ						NT	1	
323			シラネアオイ						NT	EN	1
324			スハマソウ						NT	1	
325			オキナグサ				VU	CR+EN	EN	2	
326			コキツネノボタン				VU	VU		4	
327			ヒキノカサ				VU	CR+EN	CR	4	
328			ツルキツネノボタン						VU	VU	1
329			ヒメバイカモ				EN	CR+EN	EX	4	
330			バイカモ						NT	VU	4
331			タガラシ							NT	4
332			オトコゼリ							EN	4
333		マンセンカラマツ					EN	VU		2	
334		イワカラマツ					VU	NT		3	
335		シキンカラマツ							EN	1	
336		ノカラマツ				VU	CR+EN	CR		2	
337		ユキノシタ	ボタン	ヤマシャクヤク			NT	VU	VU	1	
338				ベニバナヤマシャクヤク			VU	VU	CR		1
339	スグリ		ヤシャビシャク			NT	VU	NT		1	
340			ヤブサンザシ						CR	1	
341			ザリコミ					CR+EN	EN	1	
342			トガスグリ						VU	EN	1
343	ユキノシタ		イワネコノメソウ						VU	4	
344			ムカゴネコノメソウ				NT	要注		1	
345			コガネコノメソウ							DD	1
346			タチネコノメソウ							DD	4
347			クロクモソウ							VU	1
348			フキユキノシタ							VU	3

第 3.1.5-14 表(7) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境		
					①	②	③	④	⑤	⑥			
349	種子植物	ユキノシタ	ユキノシタ	エゾノチャルメルソウ				CR+EN	VU		1		
350			ベンケイソウ	ベンケイソウ				CR+EN	EN			2	
351				ミセバヤ				EN				3	
352				オオチチツバベンケイ				EN		EN		3	
353				ツメレンゲ				NT	DD			3	
354				アオノイワレンゲ						DD		3	
355				アズマツメクサ				NT	VU	CR		4	
356				タコノアシ	タコノアシ			NT	NT	NT		4	
357				アリノトウグサ	オグラノフサモ			VU	VU			4	
358					ホザキノフサモ					EN		4	
359					タチモ			NT	VU	VU		4	
360			マメ	マメ	モメンヅル				VU	VU		2	
361					ジャケツイバラ				CR+EN	NT			1
362					フジキ						VU		1
363					タヌキマメ					CR+EN	CR		2
364					ノアズキ					CR+EN	EN		2
365					ケヤブハギ					NT	VU		1
366					マルバナヌスビトハギ					NT	NT		2
367	チョウセンニワフジ							CR			1		
368	イタチササゲ									VU		2	
369	エゾノレンリソウ								NT	NT		1	
370	レンリソウ								VU	CR		2	
371	シベリアアメドハギ									DD		2	
372	イヌハギ							VU	NT	CR		2	
373	マキエハギ								NT			2	
374	ミヤマタニワタシ									DD		1	
375	ツガルフジ									CR		2	
376	オオバクサフジ									CR		2	
377	エビラフジ									DD		1	
378	ヒメハギ	ヒナノキンチャク						EN		CR		2	
379	バラ	グミ			マメグミ				要注			1	
380			ツクバグミ					要注	VU		1		
381		クロウメモドキ	ホナガクマヤナギ					VU			1		
382			ヨコグラノキ					CR+EN			1		
383			クロツバラ						DD		1		
384		イラクサ	マルパヤブマオ					VU			1		
385			トキホコリ				VU	VU	VU		1		
386			タチゲヒカゲミズ				VU	CR+EN			1		
387			コケミズ					NT	NT		1		
388			コバノイラクサ							NT		1	
389			エゾイラクサ							NT		1	
390			イラクサ							NT		1	
391			バラ	チョウセンキンミズヒキ				VU	NT	CR		2	
392		ザイフリボク								VU		1	
393		ミヤマザクラ							CR+EN			1	
394		クサボケ							CR+EN			2	
395		アカバナシモツケソウ								EN		2	
396		シモツケソウ							NT			2	
397		カラフトダイコンソウ							CR+EN	EN		1	
398		カワラサイコ							VU			2	
399	ヒロハノカワラサイコ						VU	NT	VU		2		
400	エチゴキジムシロ							要注			1		
401	エチゴツルキジムシロ							VU			1		
402	ミチノクナシ						EN	NT			1		
403	ミヤマウラジロイチゴ								NT		1		
404	サナギイチゴ						VU	NT	VU		1		
405	キビノナワシロイチゴ							VU	NT		2		
406	ナガボノワレモコウ							VU	NT		4		

第 3. 1. 5-14 表(8) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境				
					①	②	③	④	⑤	⑥					
407	種子植物	バラ	バラ	ナンキンナナカマド					NT		1				
408				エゾノシロバナシモツケ				CR+EN				1			
409				イワシモツケ						EN			3		
410	ブナ	ブナ	ブナ	アラカシ				要注	NT		1				
411				カバノキ	サクラバハノキ			NT	VU	VU		4			
412	ニシキギ	ニシキギ	ニシキギ	イワウメヅル				NT			1				
413				オオツルウメモドキ					CR			1			
414				ヒロハノツリバナ						NT			1		
415	キントラノオ	トウダイグサ	トウダイグサ	ノウルシ			NT	NT	VU		4				
416				マルミノウルシ			NT	VU	NT			2			
417				センダイタイゲキ			NT	CR+EN	CR			1			
418				ハクサンタイゲキ						NT			4		
419				コミカンソウ							DD		2		
420				ヤナギ	ヤナギ	ヤナギ	ドロヤナギ					NT		4	
421							トカチヤナギ					NT			4
422							マルバヤナギ						NT		4
423							コゴメヤナギ						VU		4
424		ユビソヤナギ						VU	VU	VU	VU		4		
425		シライヤナギ								VU	EN		3		
426		スマレ	スマレ				スマレ	エゾノタチツボスミレ				NT			1
427				キバナノコマノツメ						VU	VU		2		
428				ヒゴスミレ							CR+EN			2	
429				シロコスミレ				CR					2		
430				シロスミレ						CR+EN	CR		4		
431				タチスミレ					VU	EX			4		
432				フモトスミレ							VU		1		
433	フジスミレ										DD		1		
434	アマ	マツバニンジン			CR	CR+EN	CR			2					
435	オトギリソウ	オトギリソウ	オトギリソウ	オクヤマオトギリ					VU		2				
436				アゼオトギリ			EN	VU				2			
437				オシマオトギリ					VU			3			
438	フウロソウ	フウロソウ	フウロソウ	タチフウロ					EN		2				
439				アサマフウロ			NT		CR			2			
440				コフウロ					NT	NT		1			
441	フトモモ	ミソハギ	ミソハギ	ヒメミソハギ				CR+EN	EN		4				
442				ミズマツバ			VU	VU	CR			4			
443				ヒメビシ			VU	CR+EN	EX			4			
444		アカバナ	アカバナ	アカバナ	ウスゲヤナギラン				CR+EN			2			
445					カラフトアカバナ					NT			2		
446					ヒメアカバナ							VU		5	
447					オオアカバナ			VU			VU		4		
448					ホソバアカバナ					VU	VU		4		
449					ムクロジ	ムクロジ	ムクロジ	オオイタヤメイゲツ					NT		1
450	ヒナウチワカエデ									NT		1			
451	ミカン	フユザンショウ								NT	VU		1		
452	アオイ	アオイ	アオイ	カラスノゴマ				NT			2				
453				ジンチョウゲ	ジンチョウゲ	ナニワズ				CR+EN	NT		1		
454						オニシバリ				NT	NT			1	
455	アブラナ	アブラナ	アブラナ	イワハタザオ					VU		3				
456				ミズタガラシ					VU			4			
457				オクヤマガラシ							DD		4		
458				エゾハタザオ						NT	EN		1		
459				ハナハタザオ			CR	EX	EX				2		
460				オオユリワサビ					NT	EN			1		
461				コイヌガラシ			NT	CR+EN					4		
462				ハタザオ						VU	CR		2		
463	ビャクダン	ツチトリモチ	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ			VU	VU	VU		1				
464				オオバヤドリギ	ホザキヤドリギ				VU	NT		1			

第 3. 1. 5-14 表(9) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境					
					①	②	③	④	⑤	⑥						
465	種子植物	ビャクダン ナデシコ	オオバヤドリギ タデ	マツグミ				EX			1					
466				オヤマソバ				NT	EN			3				
467				アブクマトラノオ					NT			1				
468				エゾイブキトラノオ						NT		2				
469				クリンユキフデ						CR+EN		1				
470				ハルトラノオ							NT	1				
471				エゾノミズタデ						CR+EN	VU	4				
472				ヒメタデ					VU	VU		4				
473				アオヒメタデ							VU	4				
474				ヤナギヌカボ					VU	NT	VU	4				
475				ナガバノウナギツカミ					NT	VU	CR	4				
476				サデクサ						NT	CR	4				
477				シラカワタデ						CR+EN	EN	2				
478				ヌカボタデ					VU	NT	EN	4				
479				ホソバイヌタデ					NT	NT	CR	4				
480				ネバリタデ							CR	2				
481				コギシギシ					VU		DD	2				
482				ノダイオウ					VU	NT	EN	4				
483				マダイオウ						CR+EN	DD	4				
484				ナデシコ			タチハコベ			VU	NT	DD	1			
485							ワダソウ				VU	VU		1		
486							ナンブワチガイソウ				VU	NT	VU	1		
487							ヒゲネワチガイソウ						CR+EN		1	
488							シラオイハコベ						CR+EN	NT	1	
489							イトハコベ					VU	CR+EN	EX	1	
490							ナガバツメクサ						EX		2	
491				ヒユ			ミドリアカザ			CR		CR	2			
492							イワアカザ			CR	VU	CR		1		
493				ミズキ	アジサイ		クサアジサイ				VU		1			
494							ヤマアジサイ				NT			1		
495							タマアジサイ					NT		1		
496				ツツジ	サカキ		サカキ					NT	1			
497							マンリョウ					DD		1		
498					サクラソウ			ヤナギトラノオ				VU	NT	4		
499								クリンソウ					VU		4	
500								ユキワリコザクラ						NT	3	
501								サクラソウ					NT	CR+EN	EN	4
502								ハイハマボッサ					NT	VU	VU	4
503					ツバキ			ナツツバキ				VU		1		
504		イワウメ				オオイワカガミ				VU		1				
505		ツツジ				コアブラツツジ					CR	3				
506						ヒメハナヒリノキ					VU		3			
507						コバノイチヤクソウ						NT		1		
508						ヒカゲツツジ							DD	3		
509						オオバツツジ							NT	1		
510		リンドウ	アカネ			ミヤムムグラ					VU	1				
511				ハナムグラ				VU	CR+EN	CR		4				
512				オオハシカグサ							EN	1				
513				オオキヌタソウ							NT	CR	1			
514				オオアカネ								DD	1			
515				リンドウ				コケリンドウ				VU		2		
516			ハルリンドウ									VU	4			
517	ハナイカリ										NT	NT	2			
518	ホソバノツルリンドウ								VU	CR+EN	VU		1			
519	ムラサキセンブリ								NT	CR+EN	CR		2			
520	イヌセンブリ								VU	NT	VU		4			
521	マチン				アイナエ				CR+EN	CR	4					
522	キョウチクトウ			チョウジソウ			NT	CR+EN	CR	2						

第 3.1.5-14 表(10) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境		
					①	②	③	④	⑤	⑥			
523	種子植物	リンドウ	キョウチクトウ	コイケマ					EN		1		
524				フナバラソウ			VU	VU	CR		2		
525				コカモメヅル					VU		2		
526				オオアオカモメヅル						EN	1		
527				スズサイコ					NT	VU	VU	2	
528				ナス	ヒルガオ	ヒロハヒルガオ					NT		2
529		マメダオシ					CR	EX	EX		2		
530		ナス	ヤマホロシ					VU	NT		1		
531		ムラサキ	ムラサキ	サワリソウ				CR+EN	EN		1		
532				イヌムラサキ						CR		2	
533				ムラサキ				EN	CR+EN	CR		2	
534				ヤマリソウ							DD	1	
535				ルリソウ						NT		1	
536				ツルカメバソウ				EN	CR+EN			1	
537		シソ	モクセイ	ヤマトアオダモ					EN		1		
538				ヒイラギ						NT		1	
539			イワタバコ	イワタバコ					CR+EN		3		
540			オオバコ	マルバノサワトウガラシ	アブノメ				CR+EN	CR		4	
541					オオアブノメ			VU	NT	CR		4	
542					ヒシモドキ			EN	EX			4	
543					エゾノカワヂシャ							DD	4
544					ヤマクワガタ							NT	1
545					ヒヨクソウ					VU			2
546					クワガタソウ						NT		1
547					エゾリトラノオ						CR+EN	EX	1
548					ムシクサ							NT	4
549					イヌノフグリ				VU	VU	EN		2
550					ヤマトラノオ							EX	2
551					ミチノクワガタ						VU		4
552					カワヂシャ					NT	NT	NT	4
553					ゴマノハグサ	ゴマノハグサ				VU	CR+EN	EX	2
554			ヒナノウスツボ							DD	NT	1	
555			アゼナ	スズメノトウガラシ (広義)					NT	VU	4		
556	シソ		カイジンドウ	ジュウニヒトエ						CR	1		
557				ツルカソウ				VU	CR+EN	EN		2	
558				ムシヤリンドウ				VU	EX	CR		2	
559				タカクマヒキオコシ						CR+EN	NT	1	
560				キセワタ				VU	CR+EN	CR		2	
561				ヒメハッカ				NT	CR+EN	VU		4	
562				シラゲヒメジソ						NT	CR	1	
563				ヤマジソ				NT	VU	NT		2	
564				ミズトラノオ				VU	EX	CR		4	
565				アキノタムラソウ						NT		1	
566				ミゾコウジュ				NT	CR+EN	DD		4	
567				オカタツナミソウ						CR+EN	NT	1	
568				エゾタツナミソウ							NT	1	
569				ミヤマナミキ							EN	1	
570				テイネニガクサ				NT	VU	VU		1	
571				イヌニガクサ				CR	CR+EN			1	
572				エゾニガクサ				EN	CR+EN			4	
573		カリガネソウ							CR+EN	CR	1		
574	ハエドクソウ	スズメノハコベ			VU			DD	4				
575	ハマウツボ	ナンバンギセル					VU	VU	2				
576		ミチノクコゴメグサ						VU		2			
577		エゾコゴメグサ							DD	2			
578		ケヤマウツボ							要注	1			
579													
580													

第 3.1.5-14 表(11) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境				
					①	②	③	④	⑤	⑥					
581	種子植物	シソ	ハマウツボ	シコクママコナ				VU			1				
582				ハマウツボ			VU	CR+EN	CR			2			
583				キヨスミウツボ					VU	VU		1			
584				ヒキヨモギ						VU		2			
585			タヌキモ			イヌタヌキモ			NT	NT	NT		4		
586						ミミカキグサ				CR+EN	VU			4	
587						ホザキノミミカキグサ					CR+EN	VU		4	
588						フサタヌキモ				EN	EX			4	
589						オオタヌキモ					NT	VU		4	
590						ヒメタヌキモ					NT	CR+EN	VU	4	
591						ムラサキミミカキグサ					NT	NT	VU	4	
592						タヌキモ					NT	CR+EN	EN	4	
593						キツネノマゴ			ハグロソウ				VU	NT	1
594						クマツヅラ			クマツヅラ				VU	VU	2
595		モチノキ	モチノキ		フウリンウメモドキ					EN		1			
596					オクノフウリンウメモドキ				VU	NT			1		
597					ソヨゴ					NT			1		
598		キク	キキョウ		ミョウギシャジン				VU			3			
599					バアソブ				VU	CR+EN	CR		1		
600					キキョウ				VU	NT	VU		2		
601					ミツガシワ	ヒメシロアサザ				VU	VU			4	
602							ガガブタ				NT	CR+EN	DD		4
603							アサザ				NT	VU	VU		4
604			キク				ヤマノコギリソウ						CR	2	
605					キタノコギリソウ				VU				2		
606					チョウジギク							NT	1		
607					イワヨモギ					VU			3		
608					ヤブヨモギ					VU			2		
609					シオン					VU			2		
610					シュウブンソウ							NT	NT	1	
611					エゾノタウコギ							VU	EN	4	
612					オオガンクビソウ								VU	1	
613					リュウノウギク							VU		3	
614	アワコガネギク									NT	NT	NT	3		
615	モリアザミ											NT	CR	2	
616	リクゼンアザミ											NT		3	
617	ナトリアザミ										CR+EN			1	
618	キタカミアザミ											NT		1	
619	シドキヤマアザミ												DD	4	
620	マルモリアザミ											NT		1	
621	タカサブロウ												EN	4	
622	アズマギク											VU		2	
623	フジバカマ										NT	NT	EN	4	
624	ヤナギタンポポ												VU	2	
625	ホソバオグルマ										VU	VU		4	
626	タカサゴソウ										VU	VU	EN	2	
627	ノニガナ											NT	EN	2	
628	カワラニガナ							NT	VU	NT	2				
629	コオニタビラコ								VU	VU	4				
630	ミチノクヤマタバコ								VU	CR	2				
631	トウゲブキ									NT	2				
632	オオモミジガサ									NT	1				
633	オオニガナ								NT	NT	4				
634	ムラサキニガナ								NT		1				
635	コバナノコウモリソウ									NT	1				
636	コウモリソウ									NT	1				
637	カシワパハグマ								VU		1				
638	コウヤボウキ								CR+EN		1				

第 3.1.5-14 表(12) 文献その他の資料による植物の重要な種

No.	分類	目名	科名	種名	選定基準						生育環境					
					①	②	③	④	⑤	⑥						
639	種子植物	キク	キク	アキノハハコグサ			EN	CR+EN	CR		1					
640				フボウトウヒレン					NT			2				
641				ミヤコアザミ						CR+EN	CR	2				
642				ヒメヒゴタイ					VU	CR+EN	CR	2				
643				キクアザミ						CR+EN	CR	2				
644				アブクマトウヒレン						NT		1				
645				アオヤギバナ						CR+EN	DD	4				
646				ハバヤマボクチ							EN	2				
647				コウリンカ							EN	2				
648				オカオグルマ							CR+EN	CR	2			
649				オナモミ							VU	VU	CR	2		
650				セリ	ウコギ	セリ	ミヤマウド						VU	1		
651							ミヤマトウキ							VU	1	
652							エゾノヨロイグサ							DD	1	
653							ハナビゼリ							NT	EN	1
654							エキサイゼリ						NT	CR+EN	DD	4
655							ミシマサイコ						VU	CR+EN	CR	2
656							ホタルサイコ							NT	VU	2
657							セリモドキ								NT	1
658	ハナウド											NT	2			
659	ミヤマヤブニンジン											VU	1			
660	カワラボウフウ											DD	2			
661	オオカサモチ											NT	2			
662	タニミツバ											VU	4			
663	ヌマゼリ										VU	VU	VU	4		
664	トウヌマゼリ											DD	4			
665	マツムシソウ	ガマズミ	スイカズラ				レンブクソウ					NT		1		
666							コバノガマズミ							NT	1	
667				コツクバネウツギ								NT	1			
668				エゾヒョウタンボク						VU	CR+EN		1			
669				クロミノウグイスカグラ							NT	NT	1			
670				ニッコウヒョウタンボク								VU	1			
671				ハヤザキヒョウタンボク									CR	1		
672				アラゲヒョウタンボク									EN	1		
673				ハクサンオミナエシ									NT	3		
674				マツムシソウ								VU	EN	2		
675				カノコソウ									VU	2		
676				キバナウツギ									NT	1		
計	2 分類	47 目	122 科	676 種	0 種	1 種	222 種	481 種	479 種	2 種						

注：1. 選定基準の記号は第 3.1.5-13 表参照。

2. 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省、令和 3 年）に準拠した。

3. 生育環境凡例

1：樹林、2：草地、3：露岩地・岩場・岩礫地等、4：水辺・湿地等・水域、5：原野、伐採地、休耕田跡地等

4. 重要種については、出来る限り高山植物や海岸域等の事業実施想定区域及びその周辺が生育環境とは想定されない種は除いた。

② 重要な群落

重要な群落については、第 3.1.5-15 表及び第 3.1.5-12 図に示すとおりである。

「第 2 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落一覧表（全国版）」（環境庁、昭和 54 年）に掲載されている特定植物群落として事業実施想定区域の周囲に寒成山のケヤキ林、小原溪谷の自然林、弥太郎山のモミ・イヌブナ林等、5 カ所の特定植物群落が存在する。

「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト 2021 年版－」（宮城県環境生活部自然保護課、令和 3 年）に掲載されている希少な植物群落としては、前述の特定植物群落に加え、詳細な位置はわからないが、小原溪谷のイヌブナ群落、寒成山風穴の植物群落の 7 カ所が存在している。

「植物群落レッドデータ・ブック」（NACS-J, WWF JAPAN、平成 8 年）に掲載されている植物群落としては、4 群落存在するが詳細な位置情報は公表されていない。

また、重要な群落として、植生自然度 10 及び 9 に該当する植生についても抽出した。1/2.5 万植生図の統一凡例に対応する植生自然度は第 3.1.5-16 表及び第 3.1.5-12 図のとおりであり、事業実施想定区域及びその周囲には、植生自然度 10 の河辺・湿原・沼沢地・砂丘植生の区分に属する群落及び植生自然度 9 のブナクラス域自然植生の区分に属する群落が存在し、植生自然度 9 の群落は風力発電機設置想定範囲内にも一部存在する。

第 3.1.5-15 表 事業実施想定区域及びその周囲の重要な植物群落

No.	市町	名称	選定基準		
			⑦	⑧	⑨
1	宮城県白石市	寒成山のケヤキ林	E	2	
2		小原溪谷の自然林	E	1	1
3		弥太郎山のモミ・イヌブナ林	E	1	
4		虎岩のヨコグラノキ自生地	C	4	
5		渡瀬の風穴植物群落	D	2	
6		小原溪谷のイヌブナ群落		1	
7		寒成山風穴の植物群落		2	
8		モミ・イヌブナ群落			1
9		ヨコグラノキ自生地			1
10		ケヤキ群落			1

注：1. 選定基準の記号は第 3.1.5-13 表参照。

2. 名称欄の（ ）内は、「第 2 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落一覧表（全国版）」（環境庁、昭和 54 年）に記載の名称に準拠した。

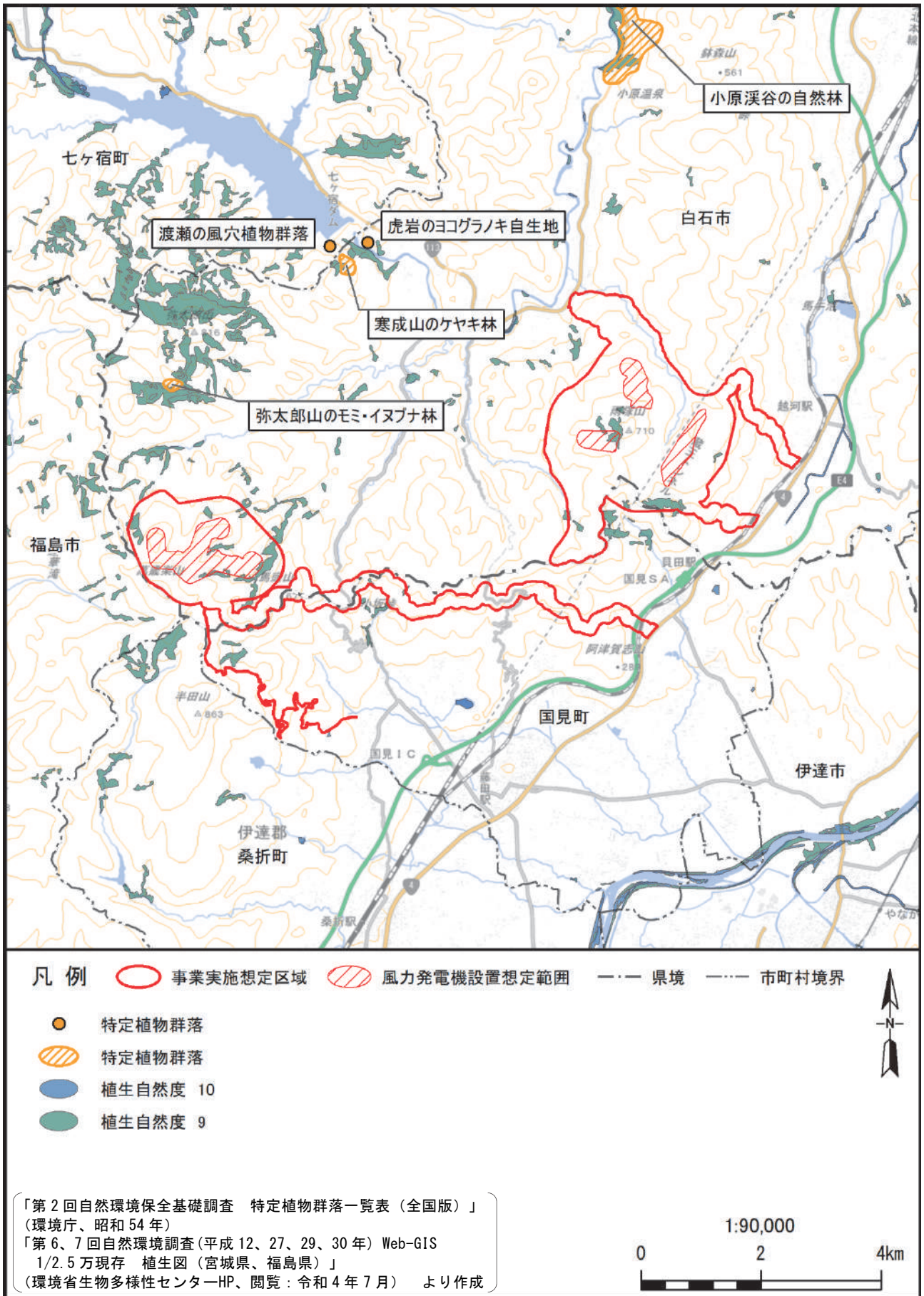
「第 2 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落一覧表（全国版）」（環境庁、昭和 54 年）
 「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト 2021 年版－」
 （宮城県生活環境部自然保護課、令和 3 年）
 「植物群落レッドデータ・ブック」（NACS-J, WWF JAPAN、平成 8 年）より作成

第 3.1.5-16 表 事業実施想定区域及びその周囲の重要な植物群落（植生自然度）

植生区分	群落名	選定基準⑩
河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等	ヨシクラス、ツルヨシ群集、オギ群集、ヒルムシロクラス	植生自然度 10
ブナクラス域自然植生	モミーイヌブナ群集、イヌシデーアカシデ群落、クロベークタゴヨウ群落、アオハダモミ群落、アカマツ群落（I V）、ケヤキ群落（I V）、ヤナギ高木群落（I V）、ヤナギ低木群落（I V）、オニグルミ群落（I V）、ヤマハンノキ群落	植生自然度 9
ヤブツバキクラス域自然植生	ケヤキ群落（V I）、イヌシデーアカシデ群落（V I）	

注：選定基準の記号は第 3.1.5-13 表参照。

〔第 6、7 回自然環境調査(平成 12、27、29、30 年) Web-GIS
1/2.5 万現存 植生図(宮城県、福島県)〕
(環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和 4 年 7 月) より作成



第3.1.5-12図 重要な植物群落の分布位置図

(4) 巨樹・巨木林・天然記念物

事業実施想定区域及びその周囲における巨樹・巨木の概要は第 3.1.5-17 表に、天然記念物は第 3.1.5-18 表に、それらの位置は第 3.1.5-13 図に示すとおりである。

事業実施想定区域及びその周囲には、巨樹・巨木林が 31 件、天然記念物が 6 件指定されている。

これらのうち事業実施想定区域には、巨樹・巨木林が 1 件位置している。

第 3.1.5-17 表 事業実施想定区域及びその周囲の巨樹・巨木林

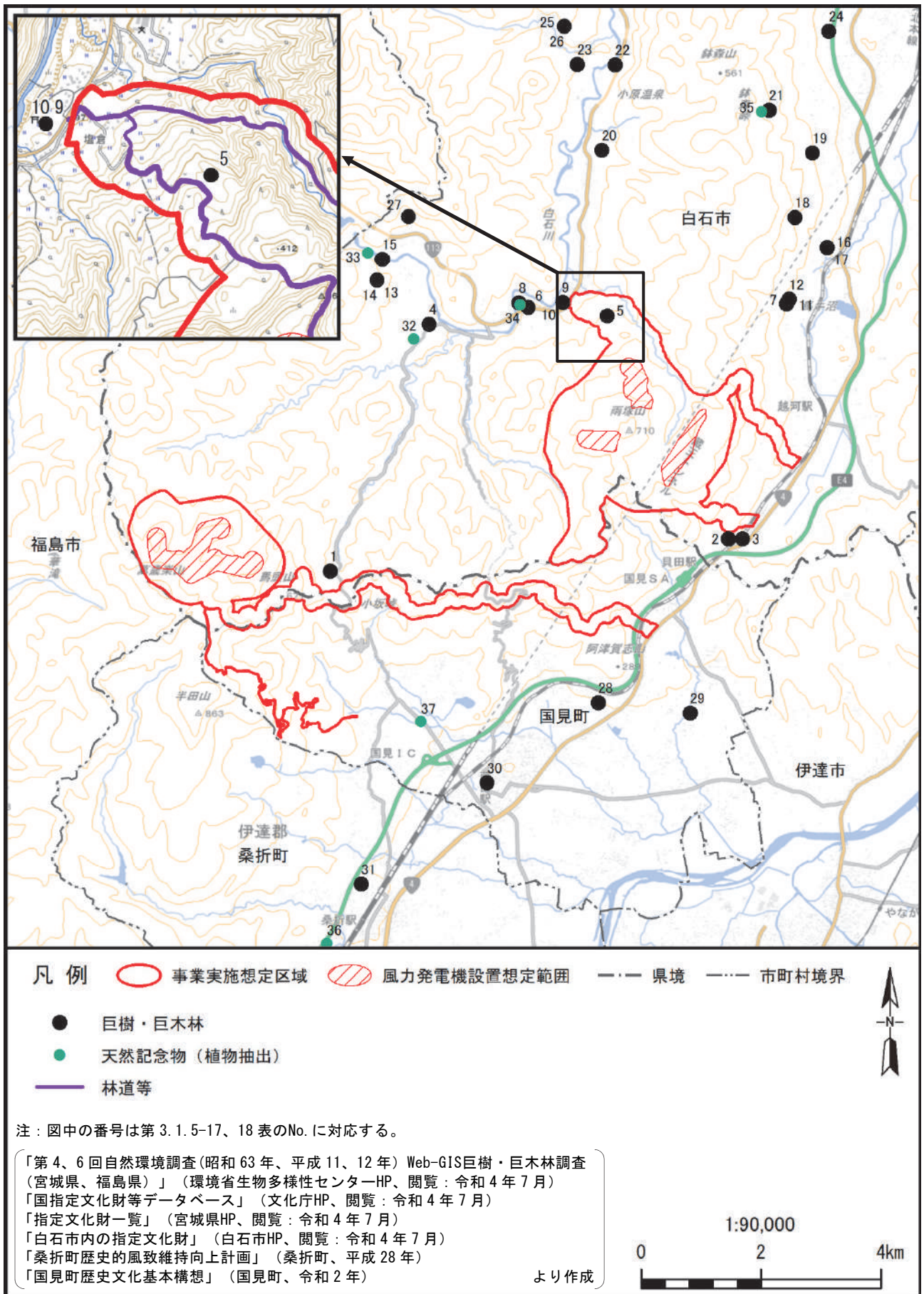
No.	樹種	区分	幹周 (cm)	樹高 (m)	市町村	所在地	
1	モミ	単木	385	26	宮城県白石市	小原字馬頭山	
2	ケヤキ	単木	490	25		字市野 (八島正一郎氏宅)	
3	ケヤキ	単木	380	22		字深山腰深山神社	
4	イヌザクラ	単木	360	10		字大角	
5	スギ	単木	298	23		字塩倉 (大清水)	
6	コツブガヤ	単木	320	21		御仮屋	
7	カヤ	単木	315	19		字中屋敷 (末永精一氏宅)	
8	ケヤキ	単木	405	20		字御仮屋 (高橋勝枝宅)	
9	ケヤキ	樹林	371	20		字滝原 (三滝神社)	
10	ケヤキ	樹林	330	20		字滝原 (三滝神社)	
11	スギ	樹林	350	25		字中屋敷 (末永精一氏宅)	
12	エゾエノキ	樹林	355	21		字中屋敷 (末永精一氏宅)	
13	スギ	並木	395	22		字江志峠 (飛不動)	
14	スギ	並木	381	13		字江志峠 (飛不動)	
15	ケヤキ	単木	430	19		字上台 (材木岩)	
16	ケヤキ	樹林	385	22		字御案内屋敷 (保料善久氏宅)	
17	ケヤキ	樹林	375	21		字御案内屋敷 (保料善久氏宅)	
18	ケヤキ	単木	470	25		字強清水 (水源地)	
19	スギ	単木	530	18		字関口 (道山忠二氏宅)	
20	ケヤキ	単木	350	23		字斎沢 (小室欣一氏宅)	
21	ケヤキ	単木	800	23		嘉右衛門山地内	
22	スギ	単木	345	26		字湯元 (薬師堂)	
23	アカマツ	単木	345	18		字塩花 (果樹団地)	
24	ケヤキ	単木	398	22		字沢ノ前 (黒沢登氏宅)	
25	モミ	樹林	480	30		字蝦夷倉 (大浦吉見宅)	
26	スギ	樹林	310	30		字蝦夷倉 (大浦吉見宅)	
27	スギ	樹林	340	25		字鳴戸 (岩松作雄氏宅)	
28	スギ	単木	410	26		福島県伊達郡国見町	観月台
29	アカマツ	単木	750	11			石母田
30	エドヒガン	単木	700	13			大木戸
31	カヤ	単木	870	16		福島県伊達郡桑折町	万正寺

「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 北海道・東北版」(環境庁、平成 3 年)
 「第 4、6 回自然環境調査(昭和 63 年、平成 11、12 年) Web-GIS 巨樹・巨木林調査 (宮城県、福島県)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「巨樹・巨木林データベース (環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和 4 年 7 月) より作成

第 3.1.5-18 表 事業実施想定区域及びその周囲の天然記念物 (植物)

No.	指定区分	名称	指定年月日	所在地
32	国	小原のヒダリマキガヤ	昭和 17 年 10 月 14 日	白石市小原湯沢神前
33	国	ヨコグラノキ北限地帯	昭和 17 年 10 月 14 日	白石市小原上台
34	国	小原のコツブガヤ	昭和 18 年 2 月 19 日	白石市小原御仮屋
35	宮城県	嘉右衛門山の逆さケヤキ	平成 17 年 5 月 10 日	白石市大平中目字梨ノ木平山
36	福島県	万正寺の大カヤ	昭和 28 年 10 月 1 日	桑折町万正寺字大榎
37	国見町	深山神社の大榎大藤	昭和 49 年 3 月 1 日	国見町鳥取字深山

「国指定文化財等データベース」(文化庁 HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「指定文化財一覧」(宮城県 HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「白石市内の指定文化財」(白石市 HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「桑折町歴史的風致維持向上計画」(桑折町、平成 28 年)
 「国見町歴史文化基本構想」(国見町、令和 2 年) より作成



第3.1.5-13 図 巨樹・巨木林及び天然記念物の分布位置図

3. 生態系の状況

(1) 環境類型区分

事業実施想定区域及びその周囲の環境類型区分の概要は第 3.1.5-19 表、その分布状況は第 3.1.5-14 図に示すとおりである。

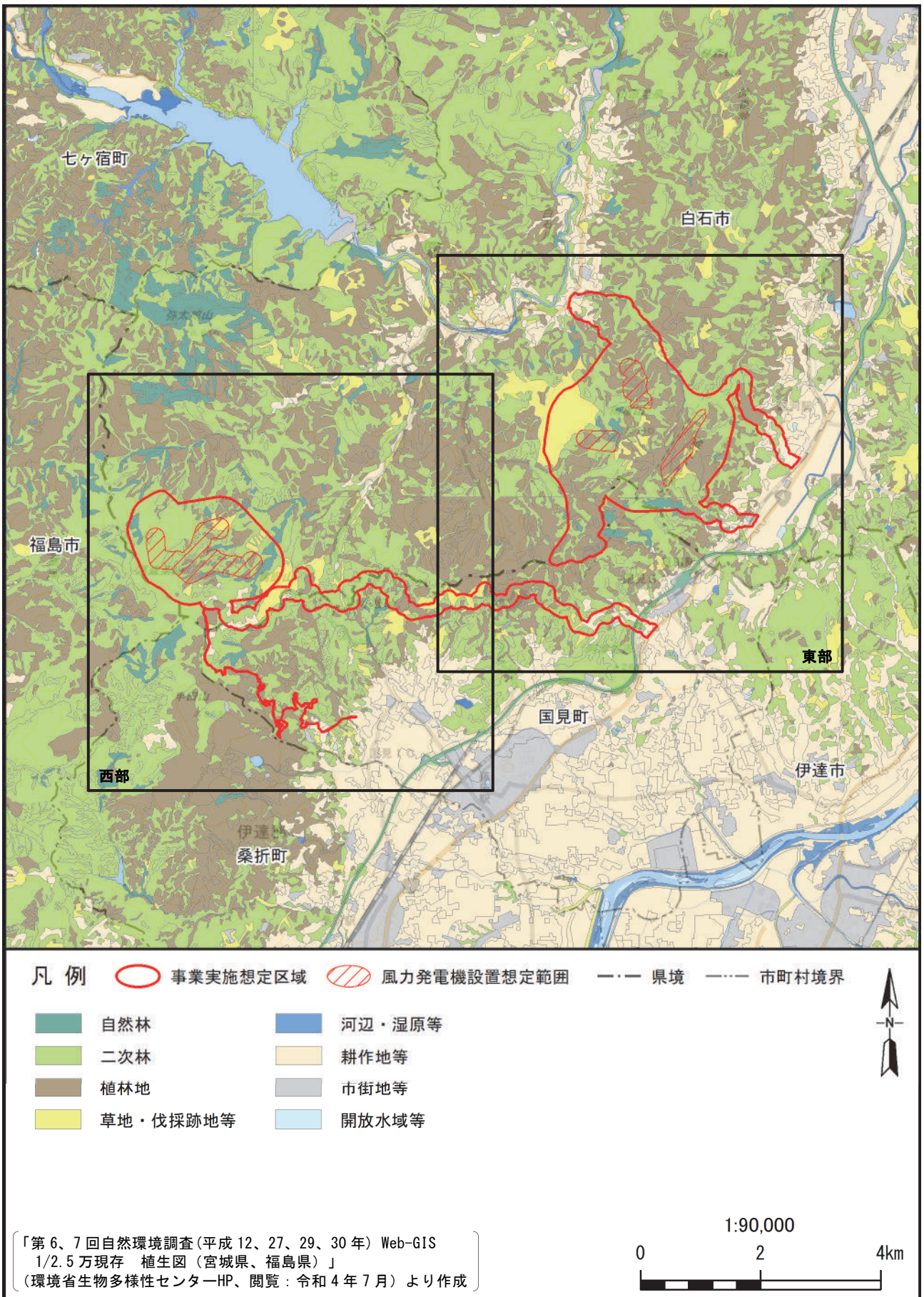
事業実施想定区域及びその周囲は、地形、植生区分との対応関係により、自然林、二次林、植林地、草地・伐採跡地等、河辺・湿原等、耕作地等、市街地等、開放水域の 8 環境類型区分に分類される。

事業実施想定区域及びその周囲は、大部分が林地であり、事業実施想定区域及び風力発電機設置想定範囲に自然林が存在する。

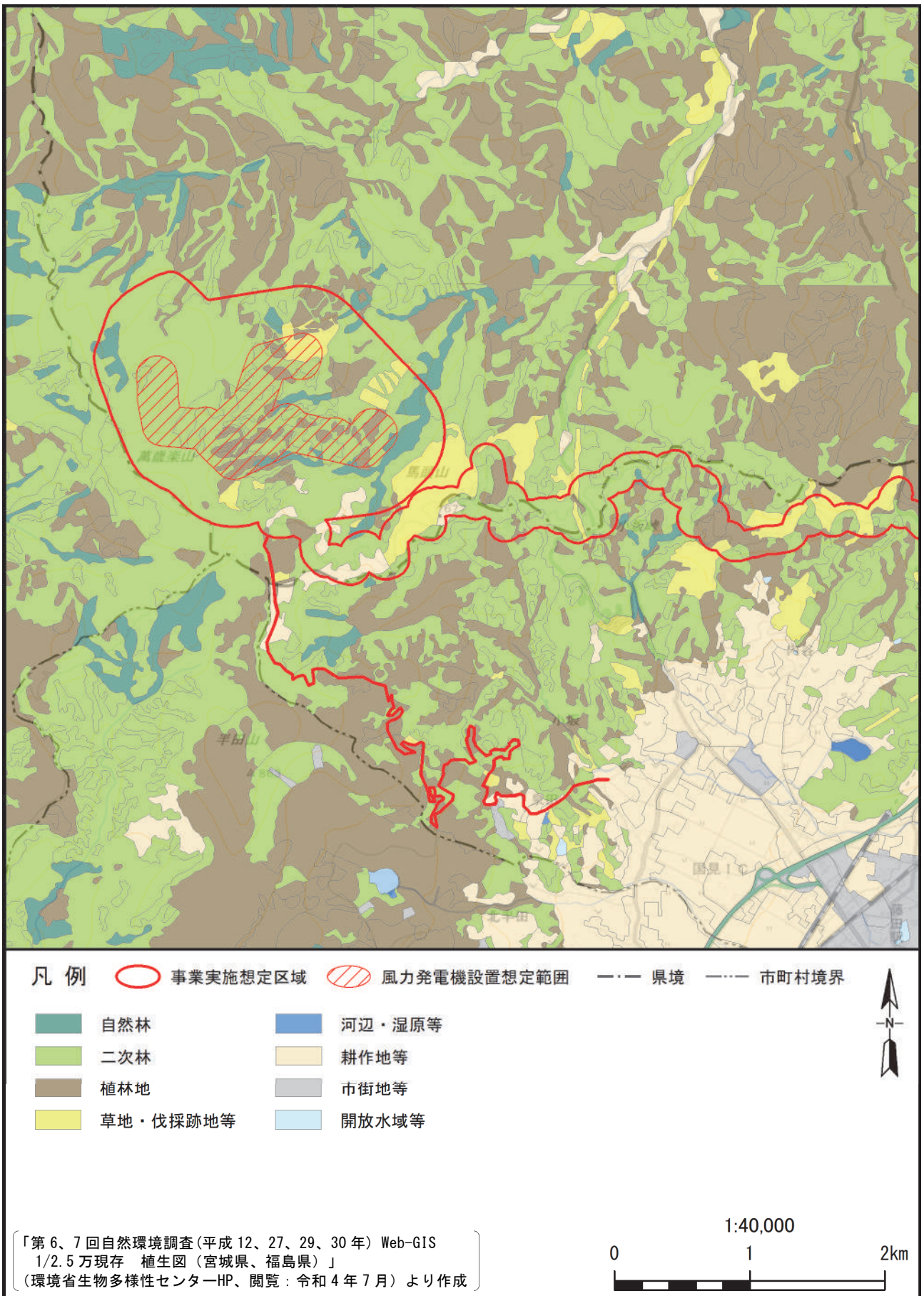
第 3.1.5-19 表 環境類型区分の概要

No.	類型区分	主な地形	植生区分
1	自然林	山地 丘陵地	モミーイヌブナ群集、イヌシデーアカシデ群落、クロベークタゴヨウ群落、アオハダーモミ群落、アカマツ群落（I V）、ケヤキ群落（I V）、ケヤキ群落（V I）、イヌシデーアカシデ群落（V I）
2	二次林	山地 丘陵地	ブナーミズナラ群落、クリーミズナラ群集、オオバクロモジミズナラ群集、コナラ群落（V）、オクチョウジザクラコナラ群集、オニグルミ群落（V）、ケヤキ二次林、アカマツ群落（V）、クリーコナラ群集
3	植林地	山地 丘陵地	スギ・ヒノキ・サワラ植林、アカマツ植林、カラマツ植林
4	草地・伐採跡地等	山地 丘陵地 低地	ニシキウツギーノリウツギ群落、タニウツギーノリウツギ群落、ササ群落（V）、ススキ群団（V）、伐採跡地群落（V）、クズ群落、伐採跡地群落（V I I）
5	河辺・湿原等	丘陵地 低地	ヤナギ高木群落（I V）、ヤナギ低木群落（I V）、オニグルミ群落（I V）、ヤマハンノキ群落、ヨシクラス、ツルヨシ群集、オギ群集、ヒルムシロクラス、河辺一年生草本群落（タウコギクラス等）
6	耕作地等	丘陵地 低地	ニセアカシア群落、イタチハギ群落、竹林、ゴルフ場・芝地、牧草地、路傍・空地雑草群落、放棄畑雑草群落、果樹園、畑雑草群落、水田雑草群落、放棄水田雑草群落、緑の多い住宅地、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
7	市街地等	低地	市街地、工場地帯、造成地
8	開放水域等	—	開放水域、自然裸地

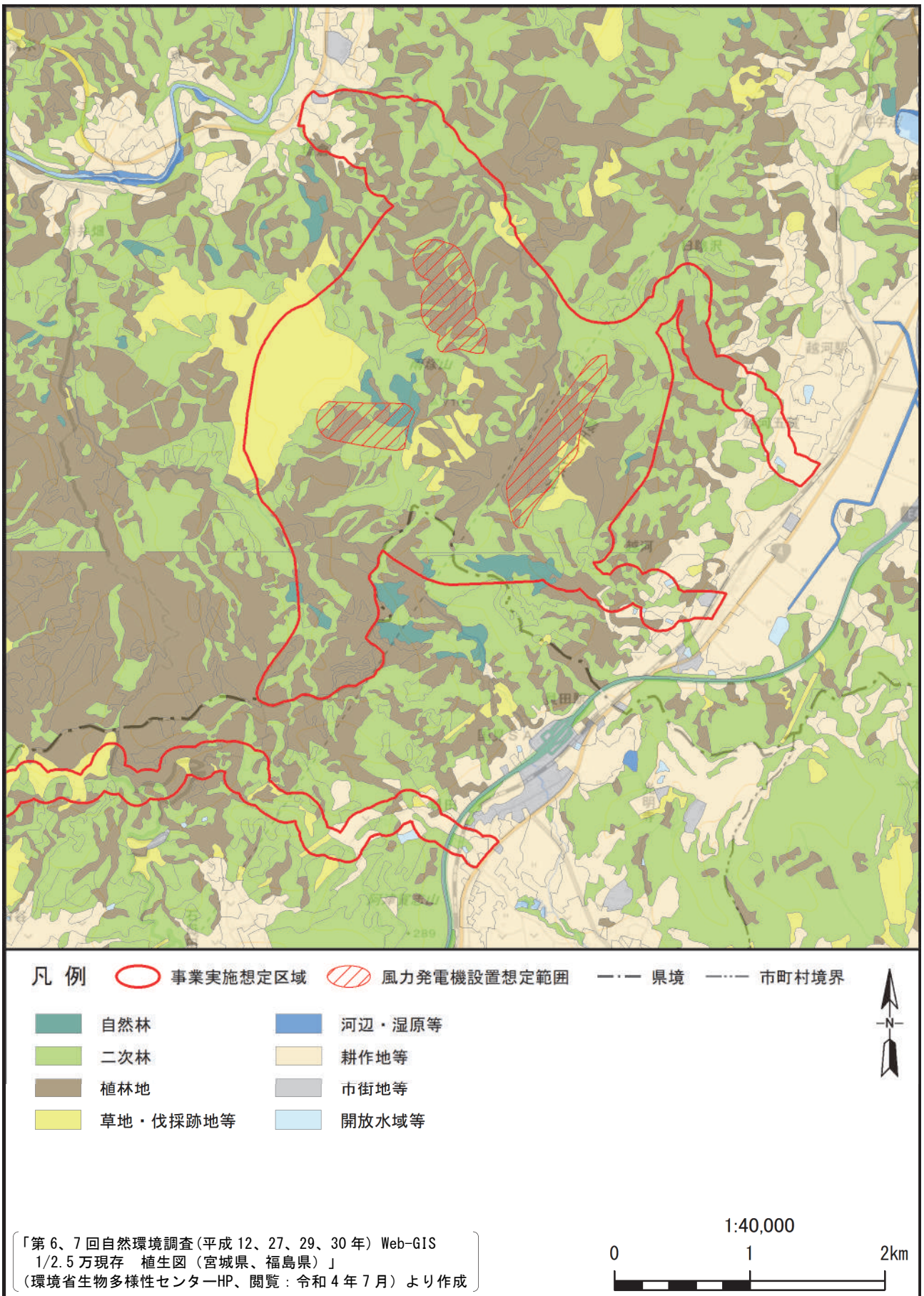
注：植生区分は、現存植生図凡例（第 3.1.5-11 表）による。



第 3.1.5-14 図(1) 環境類型区分



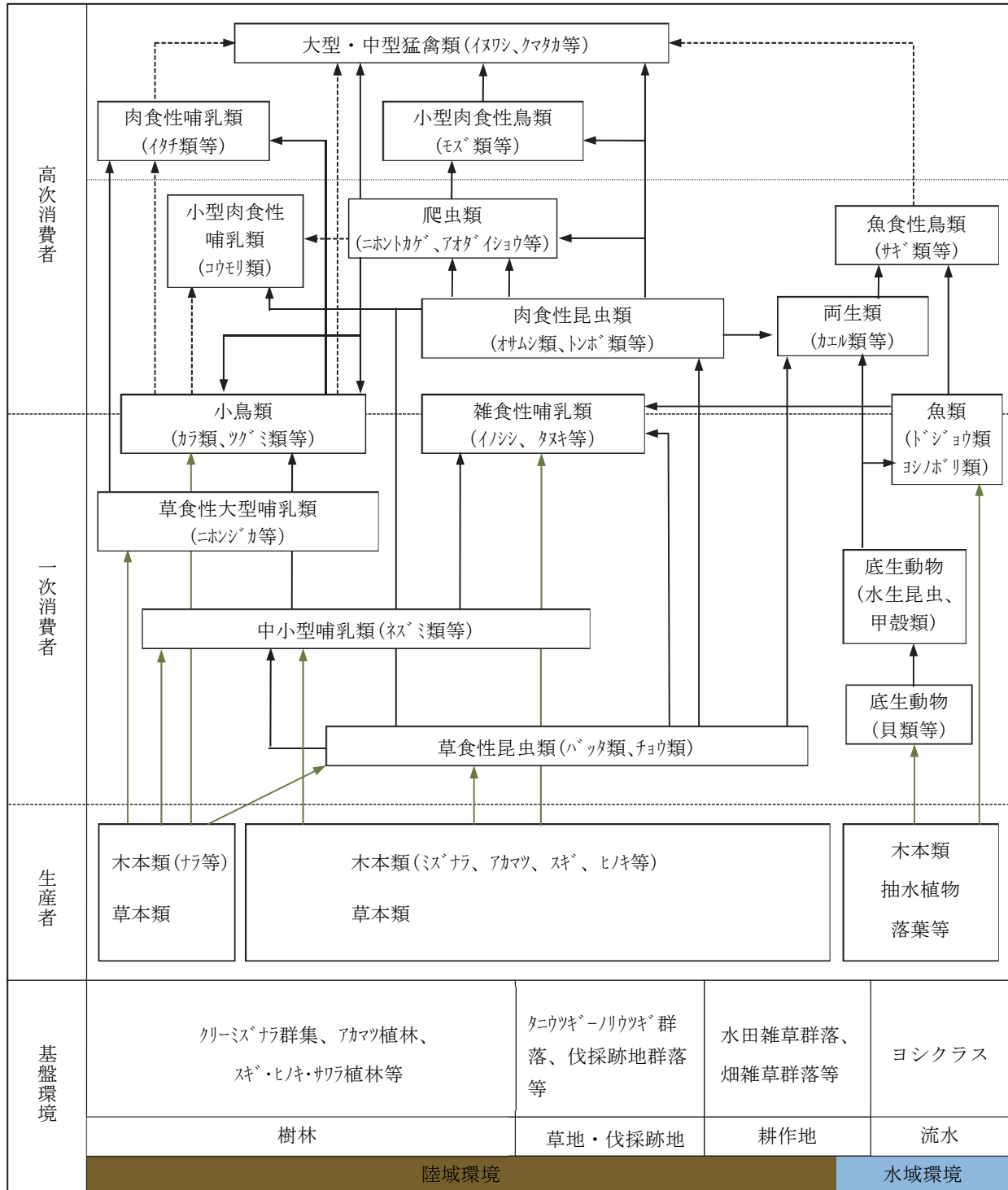
第3.1.5-14 図(2) 環境類型区分 (拡大版:西部)



第3.1.5-14 図(3) 環境類型区分(拡大版:東部)

(2) 生態系の概要

地域の生態系（動植物群）を総合的に把握するため、文献その他の資料により確認された事業実施想定区域及びその周囲の環境類型、植生及び生物種から、生物とその生息環境に係り、また、生物相互の関係について代表的な植生及び生物種を選定し、食物連鎖図として第 3.1.5-15 図に概要を整理した。



注： ———▶ : 生産者からの消費経路、 —▶ : 通常消費経路、 - - - -▶ : 稀にある消費経路

第 3.1.5-15 図 食物連鎖模式図

(3) 重要な自然環境のまとまりの場

事業実施想定区域及びその周囲の自然環境について、重要な自然環境のまとまりの場の抽出を行った。抽出された重要な自然環境のまとまりの場は第 3.1.5-20 表、その分布状況は第 3.1.5-16 図のとおりである。事業実施想定区域及びその周囲には自然環境のまとまりの場として、鳥獣保護区、KBA（生物多様性保全の鍵になる重要な地域）、自然公園、自然植生、保安林、特定植物群落、巨樹・巨木林及び天然記念物が存在する。

第 3.1.5-20 表(1) 事業実施想定区域及びその周囲の重要な自然環境のまとまりの場

重要な自然環境のまとまりの場	指定状況	抽出理由
鳥獣保護区	白石鳥獣保護区 半田山鳥獣保護区 阿津賀志山鳥獣保護区 梁川鳥獣保護区	鳥獣の保護を図るため、保護の必要があると認められた地域である。
IBA（重要野鳥生息地）	事業実施想定区域及びその周囲に指定なし	鳥類を指標とした重要な自然環境において、世界共通の基準によって選定された保全が必要な生息地等である。
KBA（生物多様性保全の鍵になる重要な地域）	蔵王・船形	IBAを基礎に鳥類以外の分類群も含めた重要地である。
自然公園	蔵王高原県立自然公園	自然公園法及びそれに基づく都道府県の条例規定に基づき、傑出した自然の風景地について指定された自然公園である。
自然植生	植生自然度 10： ヨシクラス、ツルヨシ群集、オギ群集、ヒルムシロクラス 植生自然度 9： モミ・イヌブナ群集、イヌシデーアカシデ群落、クロベークタゴヨウ群落、アオハダモミ群落、アカマツ群落（I V）、ケヤキ群落（I V）、ヤナギ高木群落（I V）、ヤナギ低木群落（I V）、オニグルミ群落（I V）、ヤマハンノキ群落、ケヤキ群落（V I）、イヌシデーアカシデ群落（V I）	環境省植生図における植生区分のうち、自然林に自然草原を加えた自然植生である。
保安林	事業実施想定区域及びその周囲に指定あり	水源涵養林や土砂崩壊防止機能を有する緑地等、地域において重要な機能を有する自然環境である。
特定植物群落	寒成山のケヤキ林 小原溪谷の自然林 弥太郎山のモミ・イヌブナ林 虎岩のヨコグラノキ自生地 渡瀬の風穴植物群落	わが国の植物相を形づくっている植物群落のうち、規模や構造、分布等において代表的・典型的なもの、代替性のないもの、あるいはきわめて脆弱であり、放置すれば存続が危ぶまれるもの、といった植物群落である。
巨樹・巨木林	モミ、ケヤキ、イヌザクラ、スギ、コツブガヤ、カヤ、エゾエノキ、アカマツ、エドヒガン	自然環境保全基礎調査において定められた原則幹回りが 3m 以上の巨木及び巨木群である。
天然記念物	植物： 小原のヒダリマキガヤ ヨコグラノキ北限地帯 小原のコツブガヤ 嘉右衛門山の逆さケヤキ 万正寺の大カヤ 深山神社の大榎大藤	文化財保護法に基づき、学術上価値の高い動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む）及び植物（自生地含む）である。

第 3.1.5-20 表 (2) 事業実施想定区域及びその周囲の重要な自然環境のまとまりの場

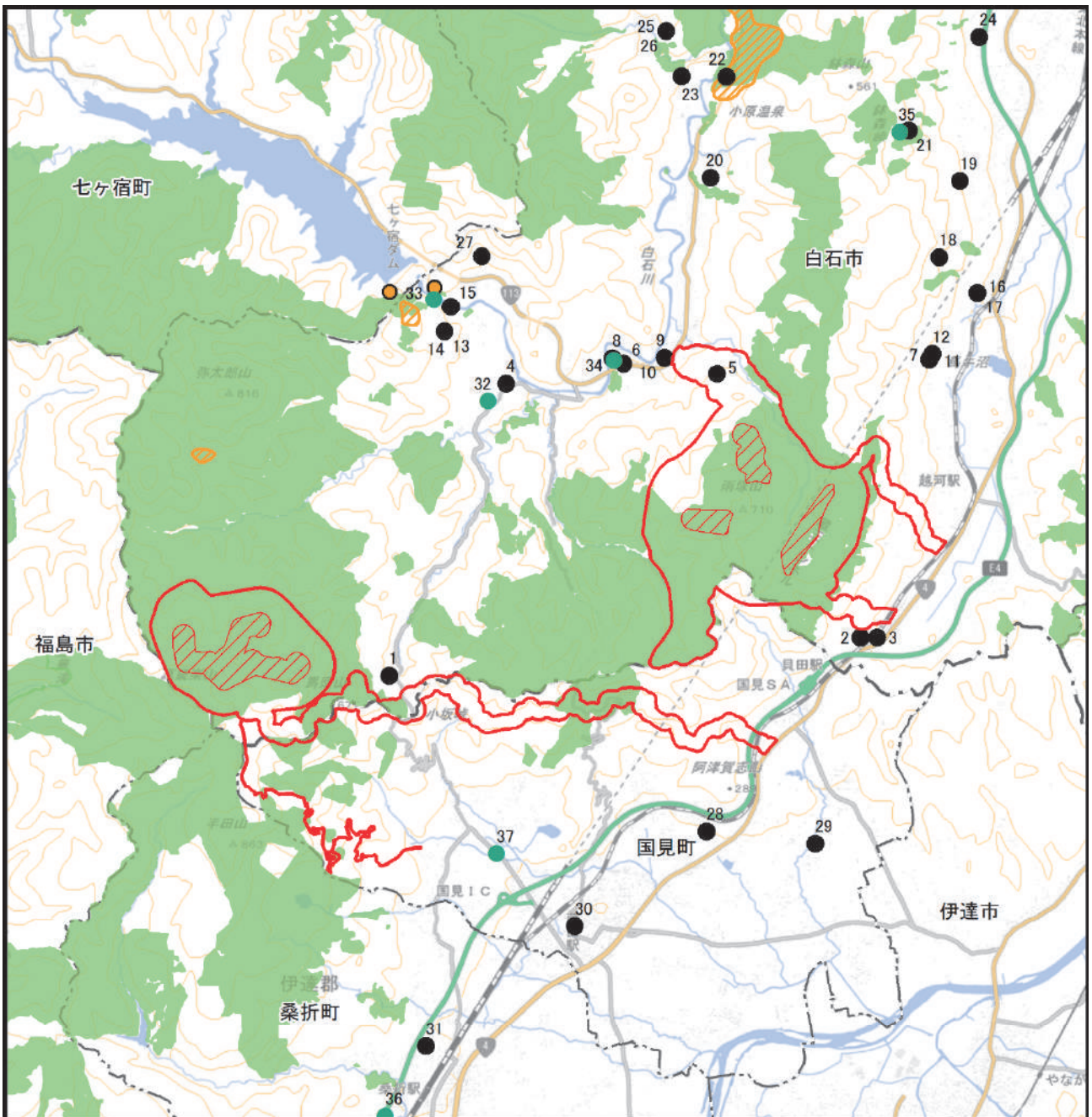
重要な自然環境の まとまりの場	指定状況	抽出理由
緑の回廊	事業実施想定区域及びその周囲に指定なし	希少な野生生物の生育・生息地を保護・管理する保護林を設置し、保護林同士を連結して野生動植物のつながりを確保、生物多様性の保全に資する地域である。

「令和 3 年度宮城県鳥獣保護区等位置図」 (宮城県、令和 3 年)
 「令和 3 年度福島県鳥獣保護区等位置図」 (福島県、令和 3 年)
 「重要野鳥生息地 (IBA Important Bird and Biodiversity Areas) の保全」
 (日本野鳥の会HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「KBA Key Biodiversity Area ～私たちが残したい未来の自然～」
 (コンサベーション・インターナショナル・ジャパンHP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「国立・国定公園及び県立自然公園の指定状況」 (宮城県HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「第 6、7 回自然環境調査 (平成 12、27、29、30 年) Web-GIS 1/2.5 万現存植生図
 (宮城県、福島県)」 (環境省生物多様性センターHP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「国土数値情報 (国有林野データ)」 (国土交通省HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「環境アセスメントデータベース EADAS (保安林 (民有林))」
 (環境省HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「第 2 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落一覧表 (全国版)」 (環境庁、昭和 54 年)
 「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 北海道・東北版」
 (環境庁、平成 3 年)
 「国指定文化財等データベース」 (文化庁HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「指定文化財一覧」 (宮城県HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「白石市内の指定文化財」 (白石市HP、閲覧：令和 4 年 7 月)
 「桑折町歴史的風致維持向上計画」 (桑折町、平成 28 年)
 「国見町歴史文化基本構想」 (国見町、令和 2 年)

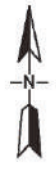
より作成



第3.1.5-16 図(1) 重要な自然環境のまとまりの場

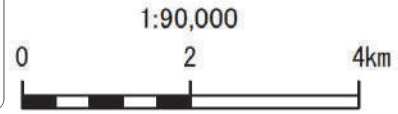


- 凡例**
- 事業実施想定区域
 - 風力発電機設置想定範囲
 - — 県境
 - · — 市町村境界
 - 保安林
 - 特定植物群落
 - 特定植物群落
 - 巨樹・巨木林
 - 天然記念物(植物抽出)



注：巨樹・巨木林及び天然記念物の図中の番号は、第3.1.5-17、18表のNo.に対応する。

- 「国土数値情報(国有林野データ)」(国土交通省HP、閲覧：令和4年7月)
- 「環境アセスメントデータベース EADAS(保安林(民有林))」(環境省HP、閲覧：令和4年7月)
- 「第2回自然環境保全基礎調査 特定植物群落一覧表(全国版)」(環境庁、昭和54年)
- 「第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 北海道・東北版」(環境庁、平成3年)
- 「国指定文化財等データベース」(文化庁HP、閲覧：令和4年7月)
- 「指定文化財一覧」(宮城県HP、閲覧：令和4年7月)
- 「白石市内の指定文化財」(白石市HP、閲覧：令和4年7月)
- 「桑折町歴史的風致維持向上計画」(桑折町、平成28年)
- 「国見町歴史文化基本構想」(国見町、令和2年)



第3.1.5-16 図(2) 重要な自然環境のまとまりの場